

# 松江城天守古写真考

## —「明治初年」とされてきた荒廃した松江城天守古写真について—

稻田 信・福井将介

### 1. はじめに

今日、明治初期とされる松江城天守が写る写真が複数枚伝わっている。本稿では、これまで調査報告書などで紹介されてきた松江城古写真を集め、年代整理を試みるもので、特に「明治初年」とされる荒廃した松江城天守古写真の撮影年代について検討する。

### 2. 現存する松江城天守古写真の整理

検討する古写真は『重要文化財松江城天守修理工事報告書』(1955)<sup>(1)</sup>、『島根県文化財調査報告』第十集(1975)<sup>(2)</sup>に掲載され、その後も松江城関連の書籍にしばしば掲載されているものである(写真A～Fと便宜的に呼ぶ)。(図版【写真A～F】は松江歴史館、まちづくり文化財課、城山公園管理事務所保管の写真を掲載)。

並べてみると、明治初年とされる松江城古写真(三之丸を含む)はA～Fのわずか6枚で、『重要文化財松江城天守修理工事報告書』では写真Aを「明治初年松江城天守」、写真Cを「明治初年の松江城全景」と紹介する。『島根県文化財調査報告』第十集では写真Aを「廢藩置県後の松江城天守閣(城郭図29番=明治初年)」、写真Bを「天守閣・二の丸・三の丸(城郭図30番=明治5年)、写真D'を「天守閣・二の丸(城郭図31番=明治8年以前)、Eを「三の丸城郭図(城郭図32番=明治8年以前)、Fを「三の丸と城下(城郭図33番=明治8年以前)と紹介している。ちなみに、写真D'はDのトリミングである。

ところで、『島根縣史』九「藩政時代下 明治維新期」<sup>(3)</sup>によれば、「明治八年五月広島鎮台は工兵大尉斎藤直演を派出し千鳥城の諸建造物並に三ノ丸殿を入札払とし之を取去らしめんとす、入札払の実行に当たり櫓の如きも四円又は五円にて落札し巍々たる天守閣も僅に百八十円にて石橋の某に落札せり、此事伝聞せる旧藩士等は感慨措く能はず元出雲郡の豪農勝部本右衛門藩士高城権八等と相議り落札高の金を納めて天守閣破壊は辛ふじて免れたるも其他の建造物は日ならずして解き払はれ荒涼たる廃墟を現出せり」(下線筆者)と記されており、この記述が正しければ、天守以外の建物が写る写真B、C、D、E、Fは明治8年(1875)5月頃以前に撮影されたものとなる。

まず、同じようなアングルで撮影されたB、C、D 3枚の古写真を比較する<sup>(4)</sup>。

写真Bは、三之丸正面の番所横(南側)道路辺りから写されたものである。天守をはじめ本丸の武具櫓、多門、高石垣上の二之丸には御書院、南櫓、御広間、中櫓、半壊した状態の瓦塀覆が見え、三之丸には表御門(長屋門)、多門(長屋)、表御門へ通じる土橋、手前には柵、右端には番所が見える。二之丸の石垣上の瓦塀覆が残っているので、瓦塀覆が取り払われた写真C、Dより古い年代のものである。

写真Cは、写真Bとほぼ同一場所の三之丸正面の番所横(南側)道路辺りから撮影されたもので、天守をはじめ本丸の武具櫓、多門、高石垣上の二之丸には御書院、南櫓、御広間、中櫓が見え、三之丸には表御門(長屋門)、多門(長屋)、表御門へ通じる土橋、手前には柵、右端には番所が見える。二之丸石垣上の瓦塀覆が取り払われているので、写真Bより年代の新しいものである。但し、番所の屋根、壁の傷み具合などを見る限り、写真B、Cの撮影時期は近いものとも考えられる。また、写真B、Cいずれも屋根などにうっすらと雪がかかっているように見える。

写真Dは三之丸前番所の北側で表御門へ通じる土橋西端辺りから写されたもので、天守をはじめ、本丸の武具櫓、多門、高石垣上の二之丸には御書院、南櫓、中櫓、御広間の屋根、三之丸には表御門（長屋門）北の多門（長屋）、土橋の一部、土橋西端付近の柵が写る（番所の北側から撮影しており、写真B、Cに写る番所は見られない）。二之丸石垣上の瓦塀覆は写真C同様、全て取り払われているので、写真Bより年代の新しいものである。さらに、建物が解体されつつあることが確認できる。例えば、B、Cに写る御広間玄関が無くなり（武具櫓手前）、御書院の屋根の大半が取り払われ屋根に作業中と思われる人物複数が写り、南櫓の二階窓格子の取り外し途中の様子が写り、表御門北の多門も解体されつつある様子（写真左端）が写る。よって、写真Cよりも新しいものである。撮影時期は、天守を残して「他の建造物は日ならずして解き払はれ荒涼たる廃墟を現出せり」となる直前、すなわち明治8年5月頃の入札直後のものではないかと想定できる。

撮影順は明らかにB→C→Dである<sup>(5)</sup>。

次に、写真E、Fを見ると、写真Eは大手口辺りの堀沿いから三之丸表御門（長屋門）、多門（長屋）、三之丸御広間、御玄関などを撮影したものである。写真Fは二之丸の石垣上から撮影したと想定され、三之丸表御門（長屋門）や多門（長屋）、堀の向こうには新御殿（初代島根県庁舎）、三之丸表御門へ通じる土橋、左端には写真B、Cに写る番所、番所横道路の向こうに御作事所など、三之丸の施設や周辺の建物が写っており、写真B、C、Dの撮影場所や周辺の状況も確認できる。撮影時期はいつであろうか。写真Eに写る表御門北の多門に塗られた漆喰の傷み具合を写真B、C、Dと比較すると、写真Cと酷似するので、写真Eは写真Cと同時期と考えられる。写真Fは比較が難しく断定はできないが、写真B、Cに写る番所横（南側）道路沿いの柵（写真下方）が無いように見えるので、写真B、Cの撮影後単独で撮影された可能性も、写真Dと同時期に撮影された可能性もある。

なお、明治3年3月には御作事所（御破損方）の御大工等によって天守四重屋根の修理（墨書の記載内容からかなりしっかりとした屋根の修復である）が行われているので、写真B、C、D、E、Fは、明治3年から同8年までの短い間に写された写真と見做してよいだろう<sup>(6)</sup>。

### 3. 「明治初年」とされる荒廃した松江城天守古写真（写真A）の検討

さて、写真Aである。「明治初年松江城天守」、「廢藩置県後の松江城天守閣（明治初年）」、或いは「明治8年」<sup>(7)</sup>と紹介されてきた。一方、天守とその他の城郭建物が写り、明らかに明治8年以前と特定できる写真は、これまで確認できた中では、写真B、C、Dのわずか3枚のみである。この3枚の天守古写真を年代順に拡大し、天守を写真Aとともに並べてみた（「天守の比較写真」参照）。写真B、C、D 3枚の中で最も新しく、明治8年5月頃の入札直後のものと想定する写真Dはかなり高精細な写真が伝わっているが、天守は写真Aのようには崩れておらず、外見上それほど目立った傷みも認められない。このことから、写真Aの撮影時期を「明治初年」、「明治8年」のものと見做すことは難しいように思われる。また、明治6年（1873）には松江の豪商たちによって松江城の天守や本丸、二之丸を会場とした博覧会が企画され、綿密な計画により県内に出品が呼びかけられ、そして開催されたことが史料で確認できる<sup>(8)</sup>。明治6年に本丸、天守にも大勢の人々が訪れる博覧会が計画され開催されたことは、やはり写真Aの撮影時期を「明治初年」、「明治8年」のものと見做すことは難しいように思われる。

では、写真Aはいつ撮影されたものであろうか。考えつくのは、明治27（1894）年に大修理が行われたことである。写真Aは、何らかの修理を要する状況、可能性として明治27年の大修理の契機となった傷みを撮影したものではないかと推定したのである。

そこで、松江城天守に関する新聞切り抜きと照合したところ、明治25年（1892）8月6日の『山陰新

聞』に、「天守閣崩落 事少しく遅間に属すれとも暴風雨の為城山天守閣下層東南隅の屋根五六間許り崩落せしを発見せり」とあり、明治27年の大修理の機運は、明治25年8月6日以前に松江城を襲った暴風雨による甚大な被害が要因となり、急速に高まったように読み取れる。(「松江城関連記事一覧(稿)」参照)

他にも、明治3年(1870)3月の天守四重屋根の修理の記録(天守内の墨書)、明治21年(1888)の修理の記事が確認できる。明治3年の修理については前述のとおり御大工頭らの名前が墨書きされており、写真B、C、D写真を見ても分かるように、少なくとも廃藩置県前の明治3年3月までは天守が適切に管理されていたと考えられる記録である。また、明治21年の修理は詳細不明ながら、『山陰新聞』記事によれば、明治21年「3月27日から天守閣修理」「4月13日、客月24日以来天守閣の縦覧は1600名余、寄附金20円と若干の寄附金」「4月15日、旧暦の弥生の節句で天守閣に登る人が多かった」「5月、西南戦争記念碑の式典、天守も会場」「5月27日、平均70~80人の天守閣縦覧」「6月24日、天守閣の土上げ(修繕中の天守閣に旧藩士族による)」「9月8日、天守閣縦覧人、5日200余名、6日350名ばかり」「10月4日、士族会で松江城の旧觀保存を話し合い。天守修繕に2000円の寄附を義捐」「11月1日、天守保存費用を旧藩主家から藩士へ寄贈の事業費3000円から充てるとの話」「11月5日、千鳥城保存には寄附金を用いるとの話」などが確認でき、多くの人々が天守に登る明治21年の状況は写真Aのような荒廃した天守とは結びつかない。

それに対して、明治大修理の竣工式の様子を伝える明治27年(1894)12月17日付『山陰新聞』<sup>(9)</sup>によれば、「工事委員三島佐次右衛門氏は報告すらく抑も本工事は、明治二十七年六月十日を以て起工せしも、墨年雨露の浸蝕に任せし為破損實に甚だしく、其の一ニを挙ぐれば四方破風屋根地取替百坪、土居二百二十坪、座板張替百三十六坪、柱建替二十一本、土壁塗替三百二十坪、瓦の補填一万三千五百枚、漆喰百三十石、此他桁梁垂木鉄具等の取替枚挙に暇あらず而して同年十一月十八日完く竣工す」とあり、「四方破風屋根地取換」「柱建替二十一本」「瓦の補填一万三千五百枚」などを要する傷み具合のために、この大修理がおこなわれたことが分かる。修理の詳細は今後の課題ではあるが、写真Aのような荒廃した天守を修理するために、

「四方破風屋根地取換・・・」の記事は矛盾しない。

とすれば、やはり写真Aは明治27年の大修理の契機となつた傷みを撮影したという可能性が高く<sup>(10)</sup>、想定できる撮影時期は、「天守閣崩落」の暴風雨に襲われた明治25年8月頃から明治の大修理が始まつ明治27年6月頃までということになる。

松江城天守写真撮影略年表

年号	写真撮影	出来事
1870年(明治3)		御作事所により天守修理
1871年(明治4)	写真B撮影 写真C撮影	太政官へ廃城の伺(1月晦日)、廃藩置県(7月)
1873年(明治6)		天守・本丸・二之丸で博覧会
1875年(明治8)	写真D撮影	天守を除く建物の解体
1888年(明治21)		天守修理
1892年(明治25)	写真A撮影	「天守閣崩落」の記事(山陰新聞)
1894年(明治27)		市民の募金などにより天守大修理

#### 4. まとめ

明治27年までの松江城古写真は、今回確認した限りわずか6枚である<sup>(11)</sup>。そのうち、5枚(写真B~F)はこれまで先学が指摘してきたように明治8年以前のものと考えられ、撮影機会は城郭施設の変化などから3~4回であったことが分かる(天守は3回)。撮影機材と撮影者が限られた明治初期、写真撮影

を行うにはそれなりの理由があったのであろう。松江城に関しても明治初期の文献史料が少ない中で、古写真を史料として扱い、様々な角度からその撮影時期、撮影理由、写真に含まれる意味を追及していくことは重要であり、大手門などを含め、さらなる古写真の発見が望まれる。

それにしてもなぜ、写真Aを「明治初年」や「明治8年」の天守の状況として理解し続けてしまったのだろうか。想像するに、例えば『島根縣史』に記された「豪農勝部本右衛門藩士高城権八等と相議り落札高の金を納めて天守閣破壊は辛ふじて免れたるも其他の建造物は日ならずして解き払はれ荒涼たる廃墟を現出せり」という記録や記憶が、哀れな天守として人々の脳裏にイメージされ、それを結びつけるかのように写真Aを「明治8年」のものという「物語」に組み立てていったように思われる。

松江城古写真の年代整理により改めて見えてきたことは、むしろ、この崩壊しそうな天守を目の当たりにした市民有志により大修理が発起され<sup>(12)</sup>、市民の募金などによって松江城天守は明治27年に修復・保存され今日に至るという、その記念碑的写真として写真Aは捉え直すべきだということである。松江城を大切に思う市民の心意気には歴史がある。

松江市史料編纂室では、130名余りの執筆陣の献身的なご努力をいただき、『松江市史』の刊行と、基本調査、付帯出版物の刊行を行ってきた。ここから導かれる松江市域の最大の特徴は、古代から現代にいたるまで、出雲地域、島根県の政治権力の中枢が置かれた場所であり、結果的に山陰の政治・経済・文化の中核地であったということである。そのため、松江市域には驚くほどの貴重な歴史史料が残されているが、それらの多くが手つかずの状態にあるように思われる。一方で、十分な調査と研究がなされないまま、「物語」のような話として松江の歴史を説明する場面も見受けられる。松江城の調査研究で故西和夫先生が、「正確に理解し、正当に評価することが大切」と諭してくださったように、松江市が今後とも歴史を活かしたまちづくりを進めていくためにも、松江市には市民の皆さんとともに、継続的に調査・研究を進めていける体制が必要だと痛感する所以である。

## 注

(1) 井上梅三ほか1955『重要文化財松江城天守修理工事報告書』松江城天守修理事務所。報告書中に「各方面に涉りこれが蒐集に努めたが(中略)明治初年の写真が発見された以外、創建の当初より、その後の修理に関しての資料は遂に得られなかった」(P53)と記し、報告書に掲載された写真Aなどいくつかの古写真是昭和大修理時の調査で発見されたようである。報告書に使用された写真(写)は、他の昭和の天守修理関係資料とともに、現在松江歴史館に保存されている。なお、昭和大修理時の調査にあたっては、「昭和二十五年度以降 国宝松江城天守史料借入返却原簿」(松江歴史館所蔵)が作成され、その折に「明治初年」と認識された写真として「明治初年の松江城写真 松江市城山 亀松亭」「明治初年頃の写真(二ノ丸から三ノ丸を望む、三ノ丸から二ノ丸を望む、松江藩主邸 三枚) 松江市母衣町 村田写真館」「明治初年 初の天守写真 一枚 松江市殿町 附属小学校(二十六年十月二一日小林教頭渡)」の記録がある。この「史料借入返却原簿」に荒廃した松江城天守古写真(写真A)が含まれているとすれば、附属小学校から借入・返却した「明治初年 初の天守写真 一枚」の可能性が高いと考え問い合わせたが、松本真理副校長の御尽力にも関わらず残念ながら現在附属小学校では確認できなかった。(「附記 現在確認出来る写真の保管・所在状況」参照)

(2) 島田成矩1975『島根県文化財調査報告』第十集 島根県教育委員会。今回の調査で口絵として載る写真は現在まちづくり文化財課で保管する写真プリント(松江市経済部→松江市教育委員会(文化財課)→歴史まちづくり部(まちづくり文化財課))を転載したものと確認できた。なお、『島根県文化財調査報告』は「天守閣・二の丸・三の丸(城郭図30番)」=写真Bの撮影年を『新修島根県史』通史編1「考古・古代・中世・近世」P575掲載写真キャプションを根拠として明治5年としたと思われるが、両者は異なる写真で、『新修島根県史』掲載写真は写真Cである。ただ、『新修島根県史』が写真Cを明治5年とした根拠は分からぬ。

(3) 野津左馬之助1930『島根縣史』九「藩政時代下 明治維新时期」島根県

(4) 城郭施設の名称、配置等は、和田嘉宥2013「松江城城郭施設の推移について」『松江城研究』2、和田嘉宥2014

「三之丸の特色とその推移について」『松江市歴史叢書』7を参考とした。また、取り壊される前の松江城内の諸建造物を明治8年に描いたとされる「松江亀田千鳥城」(松江歴史館所蔵)なども、古写真を見るうえで参考となる。

- (5) 二之丸瓦塀覆や書院の屋根に注目し、写真を年代順に説明したのに、飯塚康行2001[写真史料]「史跡松江城整備事業報告書(第2分冊:調査編)」『松江市文化財調査報告書』第88集-2 松江市教育委員会などがある。
- (6) 注1と同じ。墨書には「明治三巳三月十四日 此所屋根仕舞仕候此節御役人 御大工頭 小村平蔵 馬場作右衛門 御大工 布施賢六 橋本伝三郎・・・」などがあり、明治4年の「廃藩置県」頃までは旧藩以来の御大工等によって城内諸建物は適切に修繕されていたとも考えられる。(但し、明治8年正月晦日に松平藩庁(藩知事松平定安)は無用の贅物として松江城を廢する願いを太政官に提出し〔松平定安公伝〕、同年4月24日には藩庁から廃城の決定が達せられている〔藩庁通達書〕(朝日家旧蔵・松江市蔵)。明治4年頃には城郭施設の維持と管理は困難になっていたと考えられる。)

また、和田嘉宥氏の御教示によれば、松江城内の城郭施設を描いた「御城内絵図面」(国文学研究資料館蔵)には「明治五申五月兵部省江差出ニ付扣置」と記す貼紙があり、明治5年当時の松江城の姿を伝える図面と考えられる。この図では、貼紙をして建造物を消した箇所も見られ、二之丸でも既に取り壊された建物もありそうだが、石垣の上の瓦塀覆は明瞭に描かれており、貼紙などで消されていない。この図が明治5年の状況を正確に反映しているとすれば、二之丸石垣上の瓦塀覆が失われている写真Cは明治5年以降に写されたものと見做せる。また、「安政三辰四月改 三丸惣絵図面」(国文学研究資料館蔵)には「明治八年二月二日取調」と記す貼紙があり、玄関、御広間など、内部(三之丸御殿)の主要施設とともに「外構建家之分」(長屋、御門、土蔵11ヶ所か)、「朱引御模様替掛ケ紙之分」等の記載がある。絵図の上からも明治8年2月には、表御門、多門(長屋)、玄関などがまだ建っていたことが分かる。

なお、佐藤仁志氏には写真A、B、C、Dに写る植物相を見ていただき、専門的観点から次の御教示をいただいた。「写真がDを除いて不鮮明なことや、これはといった季節の決め手になる植物が確認できることなどから、撮影時期等の推定を行うことは難しい。その上で、あえて推察するとすれば、写真Aの石垣に張り付いているつる植物をツタと考えた場合、このような環境に生育するツタの葉の多くは冬季に落葉することから、冬季以外の季節であろうということ。お堀端に帶状に広がっている群落は、多年草のマコモと思われること。写真B、C、Dに写っている生垣状の植物がバラの仲間とすれば、Dの場合、葉が十分に展開していない季節のようにも見える。とすれば、4月上旬以前の撮影かもしれない。しかし、BやCに写っているものも十分に葉が茂っているように見えない(生育環境がよくない?)ことなどから、それ以後(例えば5月)としてもおかしくはないと思われることなどである。」

ちなみに、『松平定安公伝(其十七松江城廢止及び同城沿革一斑)』によれば、「明治八年八月に至り、楼閣牆壁及び石垣の破毀に着手し、唯天守閣のみを保存するに至れり」ともある。

以上のことを総合すれば、既に瓦塀覆等が傷み始めている写真Bは御大工の修理が適切に行われなくなるであろう「廃藩置県」頃以降、写真Cは「御城内絵図面」より明治5年以降、写真Dは建物取り扱い関連の記述や植物相の見解などから明治8年4~8月頃、とさらに絞られる可能性がある。今後の検討課題としたい。

- (7) 昭和の大修理に中心的に携わった井上梅三や須田主殿も修理の調査過程で確認された写真Aを明治8年撮影と解釈した上で、昭和大修理の際、明治27大修理以前の姿として用いられた。井上梅三ほか1955(注1)によれば、昭和の修理の現状変更に当たって、「明治8年に撮影した写真も明治改造直前の状況を示す好資料」とし、天守西側、南側の改修根拠としている。この解釈が、その後も無批判に受け入れられ続けたものと考えられる。
- (8) 上野富太郎・野津静一郎1941『松江市誌』松江市、「博覧会稟告」(松江歴史館所蔵)、「自明治四年至明治八年 県治要領」(島根県公文書センター蔵)など
- (9) 明治27年12月17日付『山陰新聞』によれば、前日の16日に竣工式が行われている。日清戦争の開始など国際情勢が緊迫する中での天守修理で、日清戦争の戦況を伝える記事の間に「天守閣修繕竣工式」の記事は載る。竣工式当日、島根県知事、千家出雲大社宮司らを来賓に迎え、天守閣旧觀保存発起総代福岡世徳(松江市長)らが祝詞を朗読した。天守内には日清戦争の戦利品が並べられ、二之丸入口には大縁門が建てられた。
- (10) 有馬誉夫2011『島根の観光レジャー史(明治・昭和戦後)』は、主として明治から昭和時代の新聞を分析し、「明治初年」とされる荒廃した松江城天守古写真(写真A)について、「明治25年5月の「崩壊」をきっかけに

して修繕の機運が高まり、いよいよ「保存会」設置、明治27年修繕に着手されるが、当の写真は、明治25年の保存会趣意書と同時にか、あるいは修繕工事に取りかかる現場写真として写されたものではないか、と筆者は推察している」とする。この写真(写真A)の年代観に疑問を投げかけた嚆矢ではなかろうか。

- (11) 写真A～Fの写真原板は当時の撮影技術から写真乾板（ガラス乾板）と考えられるが、所在は確認出来ず、今回の検討は松江歴史館とまちづくり文化財課保管のガラス乾板（昭和修理時に作成したもの）、写真プリントによった。写真Aは、昭和修理時頃には天守周辺も写る大型の写真プリントの状態で存在したようで、接写したガラス乾板が松江歴史館に保管されるとともに、岩波書店が昭和27年に撮影し昭和28年（1953）発行の岩波写真文庫「松江」（岩波書店編集部／編）にも掲載されている。いずれ写真原板（ガラス乾板）や写真原板から作成した写真プリントを確認出来ることを願っている。（まちづくり文化財課に保管する写真Dは他の古写真と比べて高精細なので、写真原板から直接プリントした可能性がある）
- (12) 明治27年5月22～24日の山陰新聞に天守閣修繕事務所より天守修繕の入札広告が出され、発起人として岡崎運兵衛、佐藤喜八郎、森脇甚右衛門、大島新四郎、三島佐次右衛門、桑原羊次郎、松本歓次郎、織原万次郎、清原宗太郎、金沢伝十郎、山内佐助、福村弥一郎、吉津元市、原源蔵、若槻敬、勝田千之助、早田豊一郎、泉友助、園山伊助、森脇新兵衛、高見兵助、尾原佐七、森脇儀兵衛、田中助次郎、持田熊次郎、河内忠助、参成三郎兵衛、浅島大造、山本権七、西代喜太郎、山口卯兵衛、中島伊八、梅木小太郎、福岡世徳、高橋義比の35名が名を連ねる。修繕事務所は松江市天神町の松江銀行内に置かれた。また、明治43から44年にかけて作成された『旧藩美蹟』（第十九編松本歓次郎事蹟 第七章千鳥城修繕と松江神社移転）には、「一種の威念に打たしめるもの我松江に在つては、五層の天守閣である。（中略）かかる好箇の記念物も、廢藩の当時には、他の門櫓楼櫓と俱に、殆ど毀壊されんとしたので有るが、工費の多大を要する為、僅に踏留まって其の運を脱れたのである。されば久しく荒廃に委せられ、甍破れては雨露の漏洩も防ぐ由なく、扉落ちては鷦鷯の巣窟たるを免れなかつた。古き簷端の忍ぶにもと低回顧望する人は多かつたけれど、誰更市のために手入れしようとする者は無く、可惜三百年の旧城も見るみる朽壊に帰せんとして居た。歓次郎は之を見て遺憾に堪へず、遂に明治廿七年率先費を投じ、有志家を説き、三千円許の醸金を得て、大修繕を加えたので、今日かの如く巍然たる壯觀を仰ぐを得るのである。」と記されている。

#### 現在確認出来る写真の保管・所在状況

昭和25年6月から同30年3月まで行われた天守解体修理時に撮影された写真類は、丁寧に整理され、『重要文化財松江城天守修理工事報告書』掲載分を含め、全て松江歴史館で保管されている。ガラス乾板、ネガフィルム、写真プリントがある。『修理報告書』に掲載された松江城古写真は、写真A、Cであるが、保管される写真プリントを見ると、写真B、D、E、Fともあるので、昭和25～30年頃には今回検討した松江城古写真A～Fの存在は全て認識されていたようである。解体修理時の写真借入記録にある「明治初年の松江城写真 松江市城山 亀松亭」「明治初年頃の写真(二ノ丸から三ノ丸を望む、三ノ丸から二ノ丸を望む、松江藩主邸 三枚) 松江市母衣町村田写真館」「明治初年 初の天守写真 一枚 松江市殿町 附属小学校(二十六年十月二一日小林教頭渡)」の所在は残念ながら確認できなかった。

他にも、写真B、Eは昭和16年刊行の『松江市誌(P1493)』に「雑賀町勝部貞太郎氏蔵」としてやや傷んだ写真が掲載されている。また、松江歴史館には近年寄贈を受けた羽山家資料(写真Bのプリント)、松本時夫氏旧蔵資料(昭和修理時撮影の写真B、D'、E、Fのガラス乾板)が保管されている。松江城天守最上階(天狗の間)には写真Cの比較的高精細なものが掲額されており、番所の傷み具合などが分かる。

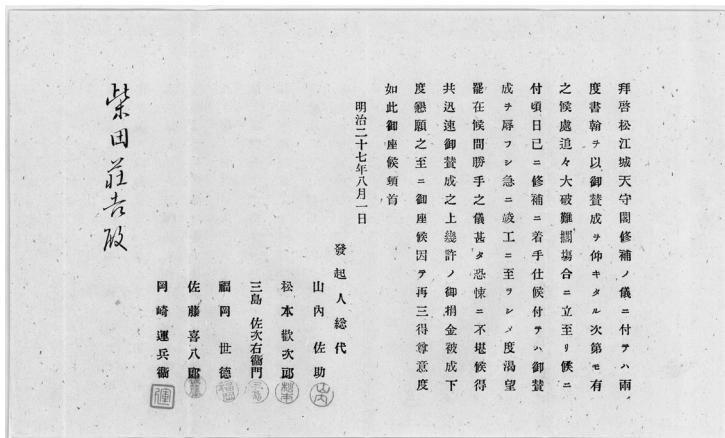
『島根県文化財調査報告』第十集(1975)の口絵の原写真プリントは、松江市経済部から松江市教育委員会(文化財課)にアルバムに納めた形で伝わり、現在、歴史まちづくり部(まちづくり文化財課)で保管している。

#### 追記

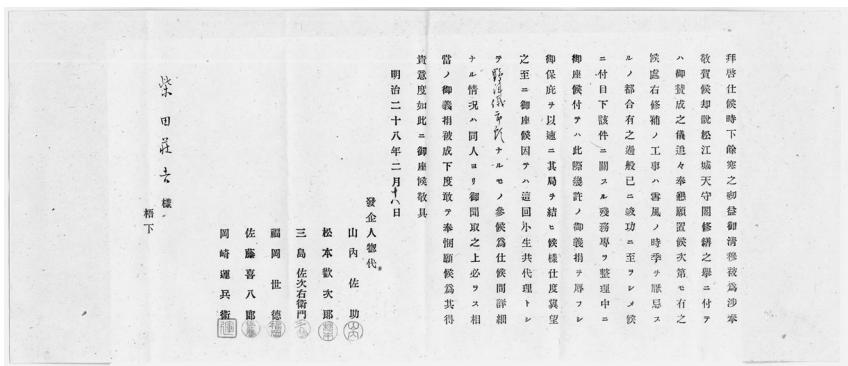
天守と天守以外の城郭建物が写る絵葉書(樋野俊晴氏所蔵)があると伊藤孝一氏からご教示いただいた。絵葉書には「松江市殿町森田写真館製版」とあることから、殿町にあった森田写真館から発行されたものである。写真には「松江舊藩主松平家御殿ト二ノ丸城山ノ遠景」のキャプションがあり、写真上に切手を貼り記念スタンプを押す。スタンプには「関東都督府始政六周年記念」「旅順」「43-9-1」

の文字が読み取れる。利用された写真は、写真Cと同一のもので(番所の屋根と壁の傷みは修正されている)、スタンプ中の「43-9-1」は明治43年(1908)9月1日と考えられることから、絵葉書作成時期がスタンプ押印時期と近いとすれば、明治43年頃に写真Cの写真乾板を森田写真館が所有し、葉書を発行していたとも考えられる。ちなみに関東都督府は明治38年(1905)に設置された関東総督府が明治39年(1906)に関東都督府と名称変更したもので、拠点は旅順に置かれた。遼東半島先端部の関東州の統治と防備を受け持った関東都督府の6周年記念に、明治初年の松江城が写る森田写真館作成の絵葉書が利用されたことは興味深い。

また、樋野俊晴氏からは、明治27年の天守大修理の折に義捐金の協力を依頼した文書が残されていると御教示を受けた。発起人物として山内佐助、松本歓次郎、三島佐次右衛門、福岡世徳、佐藤喜八郎、岡崎運兵衛の連名で、明治27年(1894)8月1日付と明治28年(1895)2月18日付の2通である。工事着手後と竣工後にも義捐金が集め続けられていたことが分かる。いずれも能義郡母里村(安来市)の素封家柴田家に伝わったものである。



明治27年8月1日付、松江  
城天守大修理のための義捐  
金協力依頼文（柴田家文書）



明治28年2月18日付、松江  
城天守大修理のための義捐  
金協力依頼文（柴田家文書）

[本稿は松江市史編纂事業に併せ松江城古写真の年代整理を試みたもので、主として本文は稻田信が、松江城関連記事一覧は福井将介が担当した。なお、今回、写真Aの撮影時期を明治25年8月頃から明治27年6月頃までと想定し提起したが、残念ながら一次的な資料により撮影年月日が明らかになったわけではない。明治中期になると明治初期に比べ残された史料も多くなることから、識者の御教示を仰ぐ次第である。]

### 謝 辞

本稿を執筆するにあたり、歴史学の観点から松尾寿氏に、地域史の観点から安部登氏に、建築史の観点から和田嘉宥氏に、歴史地理学の観点から大矢幸雄氏に、城郭史の観点から西尾克己氏、岡崎雄二郎氏、卜部吉博氏に写真の年代確定への御指導をいただきました。写真の比較検討では伊藤孝一氏、徳岡隆夫氏に御尽力をいただきました。写真に写る植物相については佐藤仁志氏に御教示いただきました。

資料作成にあたり、まちづくり文化財課史料編纂室、同国宝化推進室、同埋蔵文化財調査室、松江歴史館の諸氏には御協力をいただきました。また、山口信夫氏、樋野俊晴氏、曾田稔氏からは貴重な情報をいただきました。記して感謝申し上げます。



【写真A】松江城古写真(推定：明治25年8月頃から明治27年6月頃の間の撮影)



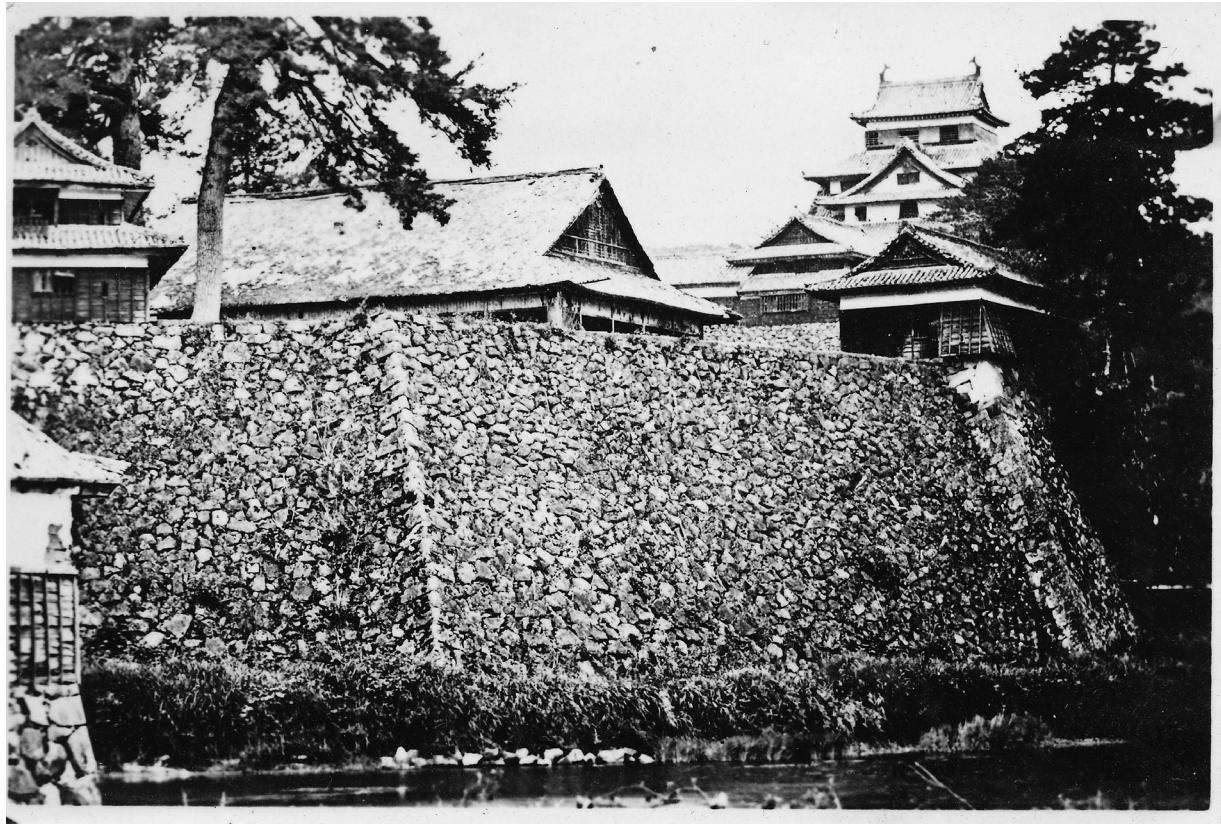
【写真B】松江城古写真(明治8年以前：現存する最も古い松江城天守の写真)



【写真C】松江城古写真(明治8年以前:現存する二番目に古い松江城天守の写真)(天守5階で掲額写真)



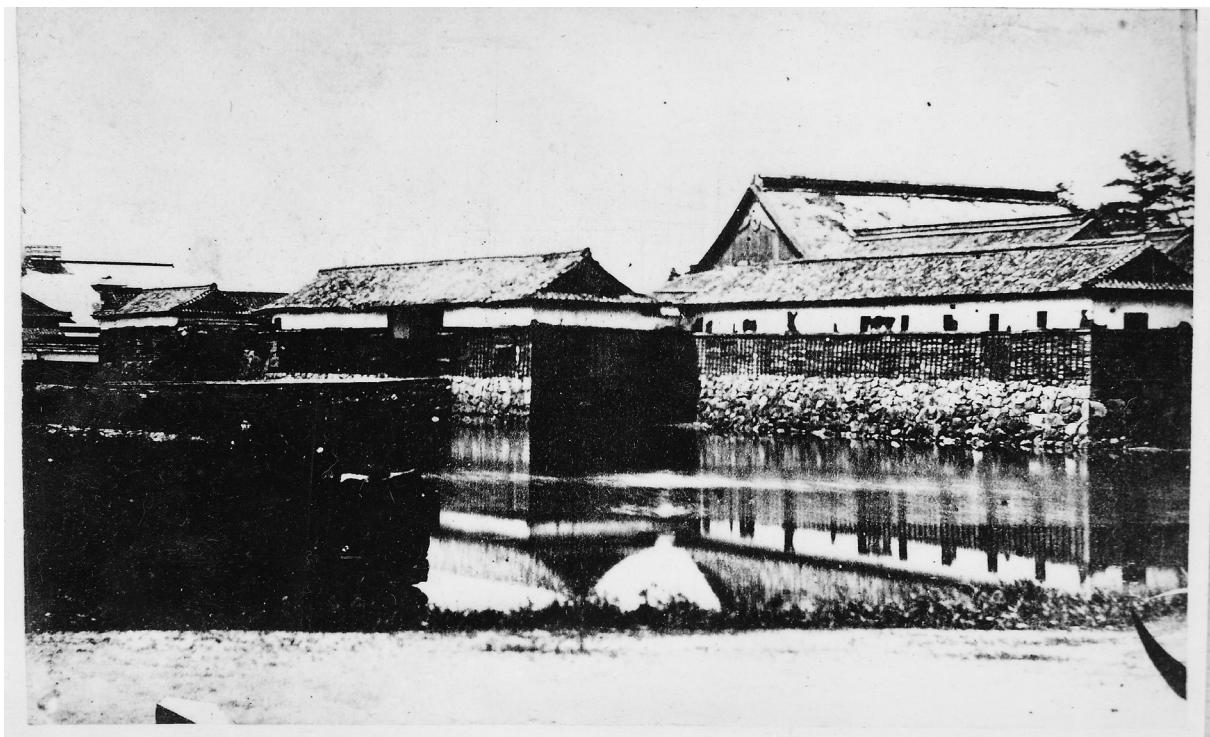
【写真D】松江城古写真(明治8年:現存する三番目に古い松江城天守の写真)



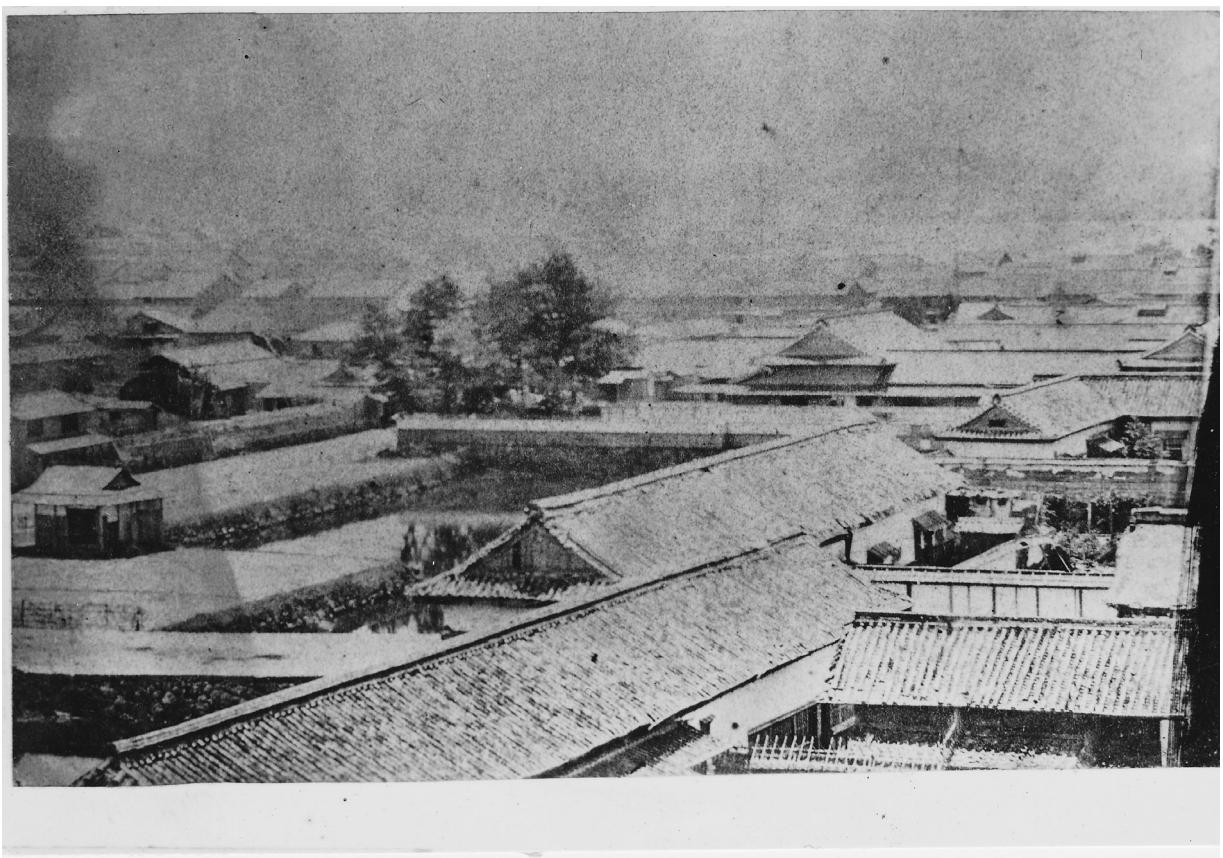
【写真D'】松江城古写真(Dのトリミング、明治8年：現存する三番目に古い松江城天守の写真)



【写真Dの部分拡大】二之丸内の御書院、南櫓（御書院屋根の解体作業、南櫓二階窓格子の取り外し途中の様子が確認出来る。御書院屋根には作業中であろう人物が複数写る。）



【写真E】松江城古写真(明治8年以前：御門右隣の多門の傷み具合から写真Bと同時期の撮影)



【写真F】松江城古写真(明治8年以前)

## 天守の比較写真



【写真A】の天守(推定:明治25年8月頃～明治27年6月頃)



【写真B】の天守(明治8年以前:最も古い天守写真)



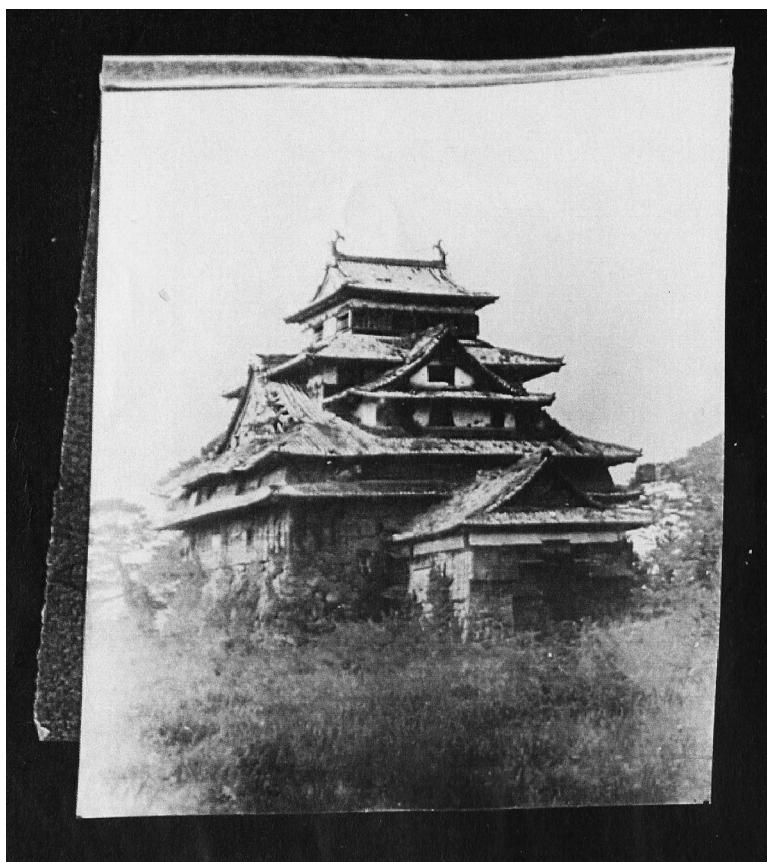
【写真C】の天守(明治8年以前:二番目に古い天守写真)



【写真D】の天守(明治8年:三番目に古い天守写真)

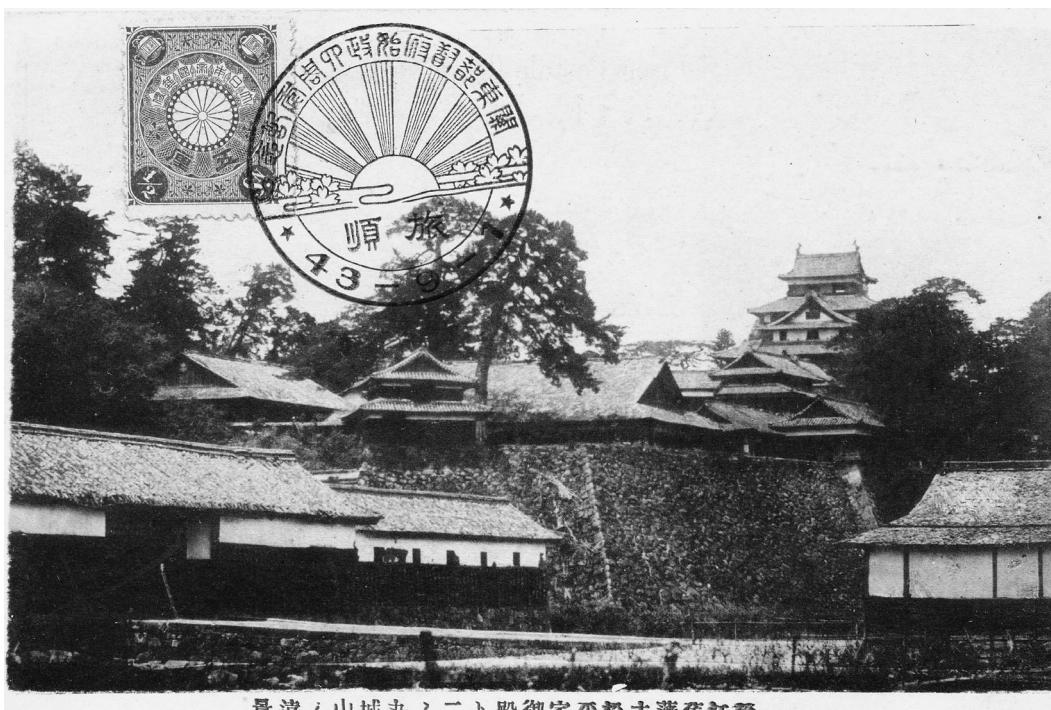


昭和修理時に撮影された写真Aの原写真(ガラス乾板:松江歴史館蔵)  
ガラス乾板に写る写真Aの原写真是、左横に写る温度計や下見板から推測すれば、なり大型の写真プリントであったと分かる。原写真所在は、現在確認されていない。



昭和27年に撮影された写真Aの  
原写真の全体写真

写真Aの原写真は天守周辺も写っていたことが分かる。昭和28年発行の岩波写真文庫「松江」にも同様の写真が掲載されている。



景達ノ山城丸ノニト殿御家平松主藩舊江齋

松江市殿町森田写真館から発行された絵葉書（樋野俊晴氏蔵）

利用された写真は写真Cで、スタンプ中の「43-9-1」は「関東都督府始政六周年記念」とあるので、明治43年9月1日を示す。

松江城古写真比較表

種類	撮影建物類	撮影場所と方向	撮影時期(想定) (下記*)	撮影時期(想定)の根拠
写真A	松江城天守	本丸内の天守南西側から天守に向か撮影	明治25年8月頃から明治27年6月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真B～Dの天守との比較</li> <li>明治6年の博覧会開催</li> <li>明治3、21の修理時の状況とは考えにくく、明治25年8月頃の暴風雨を契機とした明治の大修理に至る状況は写真Aと矛盾しない(松江城関連記事一覧)</li> </ul>
写真B	[本丸]天守、武具櫓、多門、[二之丸]御書院、南櫓、御広間、中櫓、半壊した瓦屏覆、[三之丸]表御門(長屋門)、多門(長屋)、[三之丸正面]土橋、道路脇柵、番所	三之丸正面の番所横(南側)道路辺りから天守、二之丸方向に向け撮影	明治3年(1870)～明治8年(1876)、松江城天守が写る最も古い写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>天守以外の城郭施設が残る(少なくとも明治3年3月までは、御作事所が管理しており、それ以降と見做せる)</li> <li>二之丸石垣上の瓦屏覆が残っており、写真C、Dより古い</li> </ul>
写真C	[本丸]天守、武具櫓、多門、[二之丸]御書院、南櫓、御広間、中櫓、[三之丸]表御門、多門、[三之丸正面]土橋、道路脇柵、番所	三之丸正面の番所横(南側)道路辺りから天守、二之丸方方向に向け撮影	明治3年～明治8年、松江城天守が写る二番目に古い写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>天守以外の城郭施設が残る</li> <li>瓦屏覆が失われており、写真Bより新しい</li> </ul>
写真D	[本丸]天守、武具櫓、多門、[二之丸]御書院、南櫓、御広間、中櫓、[三之丸]表御門、多門、[三之丸正面]土橋、土橋西端付近の柵	三之丸前番所の北側・土橋西端辺りから天守、二之丸方向に向け撮影	明治8年5月以降か、松江城天守が写る三番目に古い写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>天守以外の城郭施設が残る</li> <li>瓦屏覆が失われており、写真Bより新しい。また、建物が解体されつつあり、写真Cより新しい。天守以外の建物が撤去される明治8年の入札直後か</li> </ul>
写真E	[三之丸]三之丸表御門、多門、三之丸御広間、御玄関、[三之丸正面]土橋	大手口辺りより三之丸表御門方向に撮影	明治3年～明治8年(写真Cと同時期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>天守以外の城郭施設が残る</li> </ul>
写真F	[三之丸]三之丸表御門、多門、[三之丸正面]土橋、番所脇(北)の柵、番所、[その他]堀の向に新御殿(初代県庁)	二之丸の石垣上より三之丸表御門方向に向け撮影	明治3年～明治8年	<ul style="list-style-type: none"> <li>天守以外の城郭施設が残る</li> <li>番所南道路沿いの柵が見えず、写真B、Cの撮影後、写真Dと同時期か</li> </ul>

\*撮影時期は、本文(注6)などで記すように、いくつかの史料を比較することでさらに絞られる可能性はあるが、今後の検討課題としたい。

(いなた まこと 松江市史料編纂室長)  
(ふくい まさゆき 松江市史料編纂室専門調査員)

## 松江城関連記事一覧(稿)

[凡例] 松江城に関する明治元年～明治27年までの記事を抽出した。典拠は原則記事末に【】で記したが、明治15年5月発刊の『山陰新聞』については【山】とした。新聞記事は原則見出しを採録し、記事内容記載の場合は要約し、（要約）以下に記述した。同年の記事については年号を省いた。天守に関すると思われるものは太字で示した。[2011年11月福井作成]

西暦（年号）	松江城の出来事
1868 (慶応4・明治元)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月、松江藩二番八雲丸 西園寺山陰道鎮撫使の嫌疑を受ける</li> <li>・3月、山陰道鎮撫使 松江城入城</li> <li>・9月、松江藩奥羽出兵を開始(翌年8月まで)</li> </ul>
1870（明治3）	・3月14日、天守閣屋根の修理が行われる【天守閣木材墨書（昭和三十年松江城天守閣修繕工事報告書）】
1871（明治4）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正月晦日、松江藩より廢城の伺が太政官に提出される【太政類典、定安公伝】</li> <li>・4月24日、政府の承諾を受け、藩庁から廢城の決定が達せられる【「藩庁通達書」朝日家旧蔵文書（松江市蔵）】</li> <li>・7月14日、廢藩置県</li> </ul>
1873（明治6）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸軍省と大蔵省の間で松江城の地券発行に関する交渉【陸軍省大日記】</li> <li>・7月以前、松江城下の有力商人等、5月の出雲大社での博覧会開催を受けて、松江城内での博覧会開催を計画する【博覧会稟告（大野家文書）】</li> <li>・7月31日、松江城内に於いて小博覧会開設を聽し管内に布達す【縣治要領】</li> <li>・松江城内の博覧会での出品目録が作成される【出雲松江博覧会物品目録第一號～第七號（根岸家文書）】</li> <li>・9月失日、士族大野丹小博覧会に式へ擊劍会を興行を請ふ聽さず【縣治要領】</li> <li>・松江城内で勧業博覧会を行う【松江市誌】</li> </ul>
1875（明治8）	・5月、松江城城郭施設入札のために広島鎮台は斎藤直演大尉を派遣、天守は高城権八・勝部本右衛門の尽力で保存されたという。その他の建物も月ならずして解き払われた【千鳥城の築造と其城下】、【島根縣史】、【松江市誌】
1876（明治9）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城内に増えた鳥を追い払う為、猟銃の持主を雇う願出【太政類典】</li> <li>・6月～7月宇都宮に駐屯中の斎藤直演大尉軍法會議に掛けられ、8月に降格免官【陸軍省大日記】</li> </ul>
1877（明治10）	
1880（明治13）	・1月26日、内務省へ旧城内三ノ丸に苗圃開設のため貸渡し照会への返答あり【陸軍省大日記】
1881（明治14）	
1882（明治15）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月5日、千鳥城（要約）千鳥城に鶴などが増えて南西より松が枯れて旧觀を損ねた。角鹿のため近年鶴の数は減少【5月5日付山】</li> <li>・9月19日、分營（要約）松江旧城内に陸軍分營を設置の為、城内の宅地買取の報道【9月19日付山】</li> <li>・10月30日、二百五十回忌（要約）松江城開基堀尾忠晴公二百五十回忌、堀尾方善等により執行【10月21日付山】</li> </ul>
1883（明治16）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月10日、土方内務大輔（要約）土方久元内務大輔、天守閣に登閣し、市内を観望【7月13日付山】</li> <li>・7月28日、武官出張（要約）広島鎮台より士官の松江城検査。噂によれば多分陸軍所轄の旧城内二の丸を検査の為ならんと【7月25日付山】</li> <li>・10月12日、少将来松（要約）広島鎮台司令官野崎陸軍少将所蒞地巡視のため11日来松。12日に二の丸天守台を巡視した【10月13日付山】</li> </ul>
1884（明治17）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月9日、流血（要約）旧暦2月の初午の稻荷詣で、大根島の人々城山稻荷などに参詣し市中を見物した。見物人が急に出血を催した【3月10日付山】</li> <li>・8月5日、狂犬（要約）城内に潜む狂犬を突き殺した話。子犬が不憫なこと【8月7日付山】</li> </ul>
1885（明治18）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月23日、鼠賊（要約）城内で相撲・駆足など遊戯をしていた子どもたちの財布が盗まれたこと【5月26日付山】</li> <li>・6月15日、中学生徒調練（要約）松江中学の生徒へは普通体操と陸軍体操との二様を教授さるゝ由なるが尚平素平素歩兵科の調練をなさしめるため、銃砲の借り受け場として城内宇上御殿の地面を以て之に充てる見込み【6月15日付山】</li> <li>・6月28日、ぶらんこ往生（要約）城内旧二の丸入口の借地に住む、住人が首つり自殺した【6月29日付山】</li> <li>・11月2日、長途行軍兵の始末（要約）広島鎮台第11連隊古志原・上乃木で対抗演習、松江城を陣地とする演習。城内で分列式を行った【11月4日付山】</li> <li>・11月14日、懲戒も其法あり（要約）一昨夜（14日）、城内で子どもの泣き声、悪さをした子を二の丸に放し置く折檻を行った親を巡査が説諭した【11月16日付山】</li> <li>・11月中、ボヤ（要約）頃日、旧城内の家でボヤ、早速消し止め大事にはならなかった【11月28日付山】</li> <li>・12月、謝状及び告諭（要約）広島鎮台より11月の演習について謝状及び告諭が出される。12月3日に司令官代理歩兵第十旅団長佐久馬左馬太氏謝状、12月22日籠手田知事の告諭が出される。11月3日に城内分列式があつたなど演習の日程が出される【12月24日付山】</li> <li>・この年、亀田山一帯が松平家に払い下げられたとの説【島根懸史】</li> </ul>

1886（明治19）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月27日、運動会 （要約）去る二十七日は松江第一中学校師範学校の両生徒一同亀田城山旧二丸跡の芝地に於て旗奪を執行せしが紅白の櫻に源平の両陣と分れ最と花々しきことなりし由【3月1日付山】</li> <li>・3月20日、第二回運動会（要約）二の丸跡で松江中学・師範学校第二回運動会【3月23日付山】</li> <li>・4月21日、亀田城の保存（要約）籠手田知事、21日に松江士族授産の件について士族総代と会見。会見で亀田城の保存についても取りあげる。松江城天守閣の追年破壊し居て周囲は草茫々恰かも狐狸の巣窟となれるのを修繕を加へて公園と為し一は山陰一城の天守閣を存置し一は以て各種の共進会場に充る時は幾分か市街の盛況を來すならんと粗は計画せられるるとかいふ【4月24日付山】</li> <li>・4月23～25日、馬会（要約）城内二の丸米倉跡で馬会。この日が最終日【4月24日付山】</li> <li>・5月3日、市街各学校連合運動会（要約）市内各小学校、二の丸米倉跡で連合運動会【5月6日付山】</li> <li>・11月中旬、行軍來着（要約）（続）陸軍による演習で松江城が陣地として利用される。兵員の観闘などに用いられる【11月16日付山】</li> <li>・11月18日、籠手田知事、西南戦争記念碑を城内に建設するに辺り外中原清光院の集会で演説【史料 県令籠手田安定 II】</li> <li>・11月27日、旧二丸の馬匹会（要約）旧二丸の馬匹会は予ては一昨日よりの筈なりしかと生憎同日は雨天にて休会し昨日いよいよ早朝より馬も人も群集し終日ハイドウの声を絶ざりし又本日は競馬をもするとのことなれば往て五覧【11月28日付山】</li> <li>・11月28日、競馬（要約）二丸馬匹会にて計画通り競馬あり【11月30日付山】</li> </ul>
1887（明治20）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月27日、戦死者紀念碑（要約）計画中、建設の位置は旧二の丸武具方辺【3月27日付山】</li> <li>・4月2日、亀田城（要約）この度鎮台から本県へ引き渡しつき、城内の荒廃を伝える。枯れ木の払い下げ、天守の金唐銅等を外すなど、紛失物。取締りを兵事課へ上申する【4月2日付山】</li> <li>・4月6日、城地主管方（要約）城地の県への引き渡すと同じに以前の番人廃止、今度兵事課にて旧三の丸跡を監獄へ貸し与えることにより當城地總体の主管方を當監獄へ依頼されたるやに聞く【4月6日付山】</li> <li>・4月8日、明9日、学校生徒大運動会演技（要約）旧二の丸操連場にて尋常師範中学と附属小学校生徒一同による演技運動を催すこと。雨天順延。勅令・小学校令公布記念【4月10日付山】</li> <li>・4月26日、馬会 馬会（要約）松平伯来松により旧藩主を慰めるため二の丸で馬会を開く計画（5月4日まで準備の記事あり）【4月26日付附録山】</li> <li>・5月2日、馬会（要約）旧二の丸跡の馬会の詳報【5月4日付山】</li> <li>・5月8日、馬会（要約）四日の馬会の詳報【5月8日付山】</li> <li>・5月12日、公園地に確定す（要約）旧城内を公園地とする噂。いよいよ確定せし趣で、城内の作付等を取り払うことになりしと【5月14日付山】</li> <li>・5月、広告（要約）松平直亮氏帰京につき、19日旧二の丸練兵場に於いて出雲士族が奉送会を行う記事と広告。（当日の報道は新聞欠）【5月16日付・5月18日付山】</li> <li>・5月18日、松江諸堀禁漁（要約）松江市街内堀と称する線内（本日の広報、京橋川尻旧御船屋鼻と南田町大橋氏の邸横與方川口迄北田町にては杉原橋迄西は四十間堀迄に限り水門外小字波戸サキ迄北は北堀町渡橋限りにして概ね旧藩政頃の禁漁場線内に異ならないように思われる）【5月18日付山】</li> <li>・5月頃、築堤の挙（要約）旧三の丸南堀の畑作を撤去し石垣際に新堤を築き樹木を植える工事を着手【5月18日山】</li> <li>・6月14日、山川浩氏来松（要約）高等師範学校長山川浩氏、来松。昨日（14日）旧二の丸師範中学生徒の練兵場に臨み、同生徒の練兵を一覧【6月15日付山】</li> <li>・8月22日、松江城貸渡済の義に申進（要約）広島鎮台監督部長柴直言から陸軍大臣大山巌へ旧松江城并に天守櫓等該県士へ貸渡之義について許可の書類を交わしたことを報告する【陸軍省大日記 簿冊明治20年編冊各監督部】</li> <li>・9月3日、車行開けり（要約）旧城内東惣門より中原口へ通ずる道路の修繕落成した【9月3日付山】</li> <li>・9月5日、記念碑建立請負人（要約）記念碑建立請負人原正次郎氏、同建立の取調で馬閥、多度津、広島、大坂へ出発【9月5日付山】</li> <li>・9月16日から21日、馬会（要約）城内二の丸師範学校附属操練場で秋季馬会開催。（20日までの予定が一日日延べ）【9月17日付山】</li> <li>・9月28日、馬会（要約）馬会更に一日日延べし、28日乗馬、競馬、打毬を行う【9月27日付山】</li> <li>・10月19日、紀念碑着手（要約）城内の記念碑の建設着手【10月19日付山】</li> <li>・10月19日、測候所（要約）測候所を旧二の丸近方に建設の噂【10月19日付山】</li> <li>・10月22・23日、広告（要約）産牛競進会 母衣町原文平発起の畜牛競進会を松江城内で開催【10月21日付山】</li> </ul>
1888（明治21）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この年 天守閣修理 篠手田知事松の記念植樹を行う【旧藩事蹟】</li> <li>・1月8日、城内紀年碑（要約）津和野藩の旧藩主亀井滋明氏・福羽美静氏城内記念碑に寄贈なりたる由【1月8日付山】</li> <li>・1月20日、義捐金（要約）記念碑建設で千家尊福氏寄付【1月20日付山】</li> </ul>

- ・ 1月20日、城内池底の木砲 (要約) 紀年碑建築中に側の池水を抜いたところ数十の木砲を発見【1月20日付山】
- ・ 2月19日、紀年碑工事の景況 (要約) 亀田城の紀年碑工事の景況の記事【2月19日付山】
- ・ 2月23日、鎮台兵来県の期日 (要約) 城内紀年碑式典のため広島鎮台兵の来松のこと【2月23日付山】
- ・ 2月25日、紀年碑見物 (要約) 城内紀年碑の建設現場に見学者が多く集まる【2月25日付山】
- ・ 3月4日、銅碑柱 (要約) 城内二の丸の紀年碑工事の見学に関する記事【3月4日付附録山】
- ・ 3月6日、俱楽部 (要約) 城内に殿町有志俱による俱楽部設置の許可がでたとの記事【3月6日付山】
- ・ 3月10日、劇場 (要約) 城内二の丸入口、惣門突き当たり付近に劇場を建設する願が出された【3月10日付山】
- ・ 3月24日、紀年碑建設事務所 (要約) 此の中より着手せる城内紀年碑建設場の東石垣際へ新築の一棟は同建設事務所にして開所式が行われたよし【3月26日付山】
- ・ 3月24日、初午の景況 (要約) 天主閣の縦覧を許され天守の絶頂には誰の心付にや三個の双眼鏡を備へありしものから郷中の人々は始めて天主閣へ登りたるものも見渡す限りの絶景を眺め、午前10時より午後5時まで登閣の男女千人以上あり、天主閣保存費中への寄付金として二銭以上の登閣料を徴せし額13円なにがしと云うものなりし、紀年碑工事にも見学者が多くあった【3月26日付山】
- ・ 3月26日、城内の畠地 (要約) 城内天主台並に三ノ丸等にある松江監獄附属の畠地は、本年の作付限にて陸軍へ返納する筈なりと【3月26日付山】
- ・ 3月27日、天主閣の修繕 (要約) 3月27日より天守閣修理。雨漏を繕ひ置かんとの議【3月28日付山】
- ・ 4月5日、登松江城址観松平直政公手裁松有感 (要約) 山下楓庵、城山に登城し、松平直政手植の松を題に漢詩を読む【4月5日付山】
- ・ 4月9日、紀年会 (要約) 尋常師範学校旧二の丸総連場で同校の創設日にあたり記念会を開催【4月11日付山】
- ・ 4月13日、実地演習の方略 (要約) 今月下旬に広島鎮台21連隊第一大隊が松江城内で実地演習、敵軍役に師範学生と中学校生徒を充て籠城兵に扮する、市内開業医を軍医に充てる予定である【4月13日付山】
- ・ 4月13日、天守閣縦覧 (要約) 客月24日以来天守閣の縦覧は1600名余、寄附金20円と雨漏り修繕費として若干の寄附金があった【4月13日付山】
- ・ 4月15日、鎮台兵の行軍 (要約) 鎮台兵の行軍は中止との報道【4月15日付山】
- ・ 4月15日、弥生の節句 (要約) 旧暦の弥生の節句で天守閣に登る人が273人に及んだ【4月15日付山】
- ・ 4月14日、城内の仮屋 (要約) 亀田城本丸、二ノ丸に仮屋を建て飲食に供する店は多くなる見込みだが、天主台(本丸)での許可が料理屋・すし屋、菓子屋など10人ばかりに許可が出された【4月17日付山】
- ・ 4月17日、建碑式の予定 (要約) 来月6日に西南戦争記念碑の式典の予定【4月17日付山】
- ・ 4月21日、紀年碑式のこと (要約) 記念碑式の記事【4月21日付山】
- ・ 4月27日、大沼少将 (要約) 来月5日に城内での記念碑式、招魂祭臨席のため来松する【4月27日付山】
- ・ 4月27日、産牛競進会 (要約) 二の丸で畜産競進会開催【4月29日付山】
- ・ 4月29日、武官来松 (要約) 来松する大沼少将の続報【4月29日付山】
- ・ 5月、広告 (要約) 松江城山紀年碑記事 西南戦争記念碑の式典、天守も会場。・(5月~10月まで天守閣を人々が縦覧する記事)【明治21年5月3日付山】
- ・ 5月27日、天守閣縦覧人 (要約) 平均70~80人の天守閣縦覧人があった記事【5月27日付山】
- ・ 5月29日、松江城山 (要約) 天守閣修繕の企てあり、雨露を凌ぐための仮修繕があり、今度度本修繕に着手し、頂上の間より修繕し四方の物見窓をば悉皆硝子窓に仕組む都合、又、大弓場と室内射的場を設置する由、(城山公園化について)【5月31日付山】
- ・ 5月31日、松江大隊区本部 (要約) 三の丸に松江大隊区本部建設の風聞【5月31日付山】
- ・ 6月14~16日、奉納淨瑠璃 (要約) 城内二の丸で奉納淨瑠璃の開催の記事【6月16日付山】
- ・ 6月22日、天守閣の土上げ (要約) 修繕中の天守閣に旧藩士族による【6月24日付山】
- ・ 6月25日、天守閣の土上げ (要約) この日第二回目の天守の土上げを行う筈【6月24日付山】
- ・ 6月26日、火薬取締規約違犯 (要約) この日5月6日の建碑式で花火を打ち上げた士族に対し、火薬取締規則違反の告発があったが、無罪判決が出される【6月28日付山】
- ・ 6月27日、荒川新一郎氏 (要約) 農商務省技官荒川新一郎氏が城山に上がる【6月28日付山】
- ・ 7月1日、2日、馬会 (要約) 二の丸で馬会を開催【7月2日付山】
- ・ 7月14日、白昼狐を飛ばす (要約) 三の丸の畠に白昼狐が現れる【7月16日付山】
- ・ 8月9日、城山の白首 (要約) 城山において、密会する者を揶揄する記事【8月9日付山】
- ・ 8月22~23日、芝居と相撲 (要約) 城山二の丸にて22~23日に角力興行のこと【8月19日付山】
- ・ 8月27~28日、紀年碑奉納焼香角力 (要約) 城内二の丸にて記念碑焼香奉納相撲の開催【8月27日付山】
- ・ 9月5~6日、天守閣縦覧人 (要約) 5日200余名、6日350名ばかり武内神社の例祭の影響か【9月8日付山】
- ・ 9月26日、二ノ丸の馬会 (要約) 来月6日より3日間城内二の丸において馬会開催。品評会の計画【9月26日付山】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月2日、旧城拝借の相談 (要約) 松江城拝借の相談。母衣町尋常小学校において、その目的は天守閣その他の旧観保存と他日廃城の場合速やかに払い下げを願うこと【10月2日付山】</li> <li>・10月2日、士族会 (要約) 亀田城拝借論の続報。松江城の旧観保存を話し合い 借受は見合わせ、天守閣破損修繕の道を立てることとしてその費用予算は二千円にて之を義捐する事に為し【10月4日付山】</li> <li>・10月4日、射的場 (要約) 城内二の丸に近々中学校・師範学校のため射的場設置【10月4日付山】</li> <li>・10月6～8日、城内二ノ丸の馬会 (要約) 予定通り城内二の丸の馬会の開催される。本日8日乗馬会【10月8日付山】</li> <li>・10月14日、城山紀念碑の賊 (要約) 城内の西南戦争記念碑の碑文剥奪事件【10月16日付山】</li> <li>・10月20日、城内の仮屋 (要約) 城内の仮屋について設置の許可がなされた【10月20日付山】</li> <li>・10月20～21日、学生体育大会 (要約) 松江城内操練場において【10月22日付山】</li> <li>・10月21日、昨今ノ両日、旧城内ニ於テ松江市街近傍諸学校生徒凡ソ四千余名ノ大運動会ヲ開ク(予、審査係)。 【西田千太郎日記】【10月4日付山】</li> <li>・10月24日、島根赤十字社の祭典 (要約) 松江城内で赤十字社紀年懇會の開催の記事【10月22日付山】</li> <li>・10月26日、赤十字社の紀年祭 (要約) 松江城内で赤十字社紀年懇會を開催。天守閣内部で旧藩主の甲冑類、人形を展示し人々に縦覧させる。天守閣修理の寄附金5円93銭集まる【10月24日付山】</li> <li>・10月26日、赤十字社紀年祭典 (要約) 当日の概況。天主閣天狗の間には福島正則蜻蛉形の具足、妙珍作の具足、旧松江藩主の具足、隱岐国音無松の松皮等を飾付け二層閣には繻帯人形数個を飾りありて当日の登閣人員は五百九十三名に及び之が寄付金(天主閣修理の為め)は則ち五円九拾三銭なりしとのこと【10月28日付山】</li> <li>・10月29日、千鳥城保存有志会 (要約) 母衣町小学校において、千鳥城保存について相談を行われたこと。総代5名、士族有志814名(内発起者73名)天守保存費用を旧藩主家から藩士へ寄贈の事業費3000円から充てるとの話に躊躇する物言いの記事【11月1日付山】</li> <li>・11月5日、千鳥城保存の事 (要約) 千鳥城保存には寄附金を用いるとの追加訂正記事【11月5日付山】</li> </ul>
1889(明治22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月7日、来る十一日 (要約) 来る11日二の丸連兵場にて尋常中学・師範学校両校生徒の観兵式を行う【2月7日付山】</li> <li>・2月11日、一昨十一日市中の景況 (要約) 11日に大日本帝国憲法発布の記念祝賀会が城山記念碑前で行われた【2月13日付山】</li> <li>・3月11日、二ノ丸公園 (要約) 二の丸公園は昨年以来数多の名樹の植付がなされ桃桜が殊に多いが、花木の植樹が再びなされ、梅の寄贈が多いこと【3月11日付山】</li> <li>・3月21日、射的場 (要約) 城内元武具方跡に仮設の射的場があるが、師範学校惣練場より一段高い位置に新設し、整地作業の開始がなされている【3月21日付山】</li> <li>・3月27日、義捐者紀年碑 (要約) 城山西南戦争記念碑の横に義捐者記念碑を建設し、先般來着手し、来5月5日を期して成功の見込み、籠手田知事の撰文を紹介する【3月27日付山】</li> <li>・4月3日、天主閣の大写真 (要約) 天守閣に昨年の憲法発布の記念観兵式の大写真を展示すること。このところ天守閣縦覧人毎日百二三十人【4月4日付山】</li> <li>・4月12～14日、産牛競進会 (要約) 二の丸での畜産競進会に一五六頭の出展【4月14日付山】</li> <li>・4月13日、新山莊輔氏 (要約) 宮内省主馬寮技師、新山莊輔氏昨日(13日)、城内二の丸で開かれた畜産競進会に臨席し、本日(14日)帰京【4月14日付山】</li> <li>・4月14日、桜と桃 (要約) 桜と桃の花の見頃(菅田、城山内など)【4月14日付山】</li> <li>・4月14日、紀年碑一週年祭の延期 (要約) 義捐者紀年碑の工事遅れにより延期【4月14日付山】</li> <li>・4月14日、二ノ丸射的場 (要約) 一昨日(14日)開場式、二の丸射的場で旧藩弓術師範の模範演技見学者多数来場【4月16日付山】</li> <li>・5月8日、招魂祭 (要約) 城内二の丸記念碑前での招魂祭、今年天台宗の執行【5月8日付山】</li> <li>・5月28日、旧城払下の議 (要約) 陸軍省所轄に属する全国各地の旧城の内、不用の分を払下くるやの風聞あります。陸軍省に於いても旧城主たりし人の願は特別を以て聞届けなるべく定価を以て旧城主へ払下くるやの説【5月28日付山】【籠手田】</li> <li>・5月28～29日、馬会 (要約) 一昨日(28日)より城内二の丸操練場にて乗馬会の開催【5月30日付山】</li> <li>・6月2日、市会議員の懇親会 (要約) 昨日(3日)の臨時市会後、市会議員の懇親会が城山二松亭で開かれる【6月3日付山】</li> <li>・6月5日、送迎会 (要約) 前号での城内での懇親会は送迎会の誤り、大野郡長ら6名の送迎会との訂正【6月5日付山】</li> <li>・6月7日、殿町の露店 (要約) 殿町より城山へ街灯を設置する計画【6月7日付山】</li> <li>・6月16日、会 (要約) 昨日(16日)末次外4町の有志130余名元戸長を城山二松亭に招き慰労会を開催【6月17日付山】</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月2日、軍馬検査 (要約) 一昨日、帶松中の松永歩兵少佐二の丸操練場において軍馬検査を行う【8月4日付山】</li> <li>・ 8月6日、天主閣の収入 (要約) 1月から4月まで大凡毎月四千人(四十円)、5~6月平均千五百人(十五円)、7月、七百人(七円) 8月は日々平均三十人【8月6日付山】</li> <li>・ 8月28日、ホテルの必要 (要約) 松江に外国人及び内国人の到来を促すためホテルを設置する意見の中で設置候補地に城山その他の意見をあげる【8月28日付山】</li> <li>・ 9月9日、一昨夜の月 (要約) 一昨日、夜晴れていたため月がきれいで城山公園其他に歩く人が多かった【9月11日付山】</li> <li>・ 9月10日、大弓の大会 (要約) 昨日(10日) 二の丸弓場で弓道大会【9月11日付山】</li> <li>・ 9月11日、天守閣登閣人数統計 (要約) 8月中768名にして登閣料7円68銭、本月に入ってからは一日二三十人位【9月11日付山】</li> <li>・ 9月15日、軍馬購買委員 (要約) 軍馬購買委員が来26日来県し、来27日に城内において軍馬の検査を行うとのこと【9月15日付山】</li> <li>・ 9月27日、城山公園諸門閉鎖时限 (要約) 城山公園の諸門は迄午後10時限り閉門の処此頃より同12時限りに改たむ【9月27日付山】</li> <li>・ 9月27日、内藤少佐の一一行 (要約) 本日二ノ丸に於ける馬匹検査を終えると仁多郡へその後、30日松江経由で帰京という【9月27日付山】</li> <li>・ 9月28日、軍馬購入 (要約) 昨日(28日) 二の丸で軍馬検査、馬二頭を購入【9月29日付山】</li> <li>・ 9月29日、旧城弛の地価 (要約) 陸軍省所轄の旧城地の内、今回払い下げ21城に松江城も含まれる。松江城に関して松平家と県知事との間で話し合いがもたれた【9月29日付山】 (10月中地価関係の記事)</li> <li>・ 9月28~29日、馬会 (要約) 昨日馬会の様子と本日も城内練兵場で馬会の開催【9月29日付山】</li> <li>・ 10月1日、書記官亀田城の払下を周旋す (要約) 亀田城払い下げについて某書記官が周旋するとの記事。北堀町の商人連が買受けを願う(次号続)【10月1日付山】</li> <li>・ 10月1日、馬会 (要約) 一昨日(9月29日) の城内馬会の続報【10月1日付山】</li> <li>・ 10月9日、松江城の評価 (要約) いよいよ松平直亮氏が旧松江城の払い下げを請願する。来十四五日に軍吏の調査【10月9日付山】</li> <li>・ 10月12日、松江浜田両城の評価 (要約) 第五師団米川氏一昨日(11日) 来松し、昨日(12日) 評価人と今度払い下げの松江城の評価調査。本日は右評価のため滞在。明日浜田城へ赴く【10月13日付山】</li> <li>・ 10月15日、旧松江城の評価 (要約) 松江城の評価は今後陸軍大臣へ報告され、払い下げ代価の掲示がある手続きとなる【10月15日付山】</li> <li>・ 10月19日、松江城の坪数 (要約) 旧松江城払下に付今度其城地坪数を取調られし処ろ平地八千百六十九坪余、山地三万五百六十二坪余、堀池二万千三百八坪余、建物二百十一坪余、立木尺廻り以上千五百五本なりしとの事【10月19日付山】</li> <li>・ 10月29日、松江城の付属 (要約) 法吉村の旧火薬庫敷地も払い下げ城地に付属するという【10月29日付山】</li> <li>・ 10月29日、乗馬教習会 (要約) 北堀町の貸馬業者が来月から二の丸内で乗馬講習会を行う【10月29日付山】</li> <li>・ 11月3日、昨日の祝事 (要約) 天長節と立皇太子式の祝い、城山で師範学校生徒の分列式。市民の祝宴会も開かれた【11月4日付山】</li> <li>・ 11月6日、城山天守閣の閉鎖 (要約) 千鳥城天守閣の縦覧はいよいよ本月限りにて差止むる事となれる由なるが近日の登閣者は平均二十人位にて去る三日天長節当日には百余人に及びたりとの事又た去十月中の登閣人員は八百九十三人にて此の登閣料八円九十三銭なりき【11月6日付山】</li> <li>・ 11月6日、溝部第二部長 (要約) 松江旧城山払下の件で第5師団へ出張していたが、一昨日(6日) 帰松した【11月8日付山】</li> <li>・ 11月10日、城山の歌舞音曲 (要約) なるべく控えるようにとの内命、払い下げに決したので再び行われるようになった【11月10日付山】</li> <li>・ 11月14日、軍人会 (要約) 出雲軍人会を亀田山城内で開催の計画【11月14日付山】</li> <li>・ 11月20日、変死 (要約) 一昨日(20日) 未明城山稲荷に参拝の老女二の丸内の古井戸に落ちて死亡【11月22日付山】</li> <li>・ 12月29日、切腹 (要約) 城内に居住する男、自宅内で切腹する【12月30日付山】</li> </ul>
1890 (明治23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江城払い下げに関する書類 (22年11月~23年3月) 【陸軍省大日記】</li> <li>・ 1月16日、励志会 (要約) 市内有志による励志会の発会式の準備、来20日に城山二松亭で発会式を起こす予定【1月16日付山】</li> <li>・ 1月20日、励志会の発会式 (要約) 一昨日(20日)、励志会の発会式が城山二松亭で挙行された【1月22日付山】</li> <li>・ 3月19日、旧城払下 (要約) 亀田城(松江城) が旧藩主松平家に4500円で払い下げとの報道【3月19日付山】 【松江日報】</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月31日、城山公園 （要約）城山公園昨今は桃花満開にして相当の遊覧者あり 【3月31日付山】</li> <li>・4月10日、尋常師範学校生徒の打毬会 （要約）一昨日（10日）二の丸練兵場で尋常師範学校生徒打毬競争を行う【4月12日付山】</li> <li>・4月14日、紀年碑 （要約）亀田城城山に建設中の記念石碑は完成し、本日より台座に据え付け着手する【4月14日付山】</li> <li>・4月14・16・18・20日、（要約）広告 来る5月5日旧松江城山において西南之役雲石隠戦死者臨時招魂祭施行。取り扱い城山事務所【4月14～20日付山】</li> <li>・4月18日、城山招魂祭（要約）城山での西南之役雲石隠戦死者臨時招魂祭は来月4日に変更、日曜日のため参拝者の都合の故【4月18日付山】</li> <li>・4月22日、招魂祭 （要約）城山での招魂祭は5月4日5日の両日開催4日神式、5日は仏式七宗による開催【4月22日付山】</li> <li>・4月22日、広告 （要約）来る5月4日・5日旧松江城山において西南之役雲石隠戦死者臨時招魂祭施行。4日神式、5日仏式とする【4月22日付山】</li> <li>・4月24日、広告 （要約）来る5月4日・5日旧松江城山において西南之役雲石隠戦死者臨時招魂祭施行。4日神式、5日仏式とする【4月24日付山】</li> <li>・4月26日、広告 （要約）来る5月4日・5日旧松江城山において西南之役雲石隠戦死者臨時招魂祭施行。4日神式、5日仏式とする【4月26日付山】</li> <li>・5月4～5日、招魂祭の景況 （要約）5月4～5日の城山招魂祭について、特別招待者城山二松亭で饗応、操練場にて角力、競馬の余興も行われる【5月6日付山】</li> <li>・5月15日、松浦伯 （要約）来松中の松浦伯爵一行の予定。昨日（15日）午前は天守閣に登り午後松江に所在する松平家の宝物を縦覧する【5月16日付山】</li> <li>・6月29日、監獄畠 （要約）三ノ丸跡の島根監獄附属畠に過日、盜人が入るが、一昨日も盜人を番人が追い回した所、堀に飛び込み、番人が騒いだ隙に逃走した【6月29日付山】</li> <li>・10月25日、旧二ノ丸ニ於テ松江及近傍諸学校連合大運動会举行【西田千太郎日記】</li> <li>・10月25日、体育会に関する某教育家の談話 （要約）旧城内二の丸跡操練場にて某教育家の体育会に関する講演会【10月25日付山】</li> <li>・10月25日、昨日体育会の模様一班 （要約）昨日（25日）の私立教育會主催の体育会は、二の丸跡操練場において開会、旧追手門跡と会場入り口に旭日旗を交差させる。来賓、出場者の記事を載せる【10月26日付山】</li> <li>・10月28日、体育会演技に付き師範学校生徒の憤懣 （要約）25日城山での体育会について師範学校生徒の憤懣の記事。（強制参加の場合ボイコットする考えの意を載せる）【10月28日付山】</li> <li>・11月9日、紅葉便り （要約）城山の裏手など（現在の市内各所）紅葉が盛りであることを伝える【11月9日付山】</li> <li>・11月15日、ヘルン氏にはあらざるか （要約）客月25日城山での体育会と天長節の景況について近着の横浜メール新聞に今月3日付松江発書簡で紹介される記事はヘルン氏によるものか【11月15日付山】</li> <li>・11月21日、松江市会議員市参事会員収入役 （要約）来る25日帝国議会招集にあたり城山で大祝賀会を行う予定。発起人松江市会議員、収入役など市職員を主体【11月21日付山】</li> <li>・11月22日、当市国会祭の準備 （要約）前号に載せた国会祭の続報。城山の記念碑前で行うなど【11月22日付山】</li> <li>・11月28日、広告 （要約）旧松江城山において29日午前九時参集、午前10時開式で帝国議会開会祝宴を行うこと【11月28日付山】</li> <li>・11月29日、広告 （要約）旧松江城山において29日午前九時参集、午前10時開式で帝国議会開会祝宴を行うこと【11月29日付山】</li> <li>・11月29日、市内の国会祭 （要約）市内城山紀年碑前での国会祭の様子【11月30日付山】</li> <li>・12月14日、大弓忘年会 （要約）二ノ丸射的場にて本日開催 【12月14日付山】</li> <li>・12月16日、二松亭の紳士 （要約）県会議員、議長の案内にて城山二松亭に集まる。（慰労の集まりらしい）【12月16日付山】</li> <li>・12月17日、地租軽減の請願を為さんとす（要約）前号で紹介した県会議員が城山二松亭に集まった理由は、慰労会に非ず、地租軽減の請願の為の集会とのこと【12月17日付山】</li> <li>・12月20日、白波 （要約）一昨々日（20日）夜半、南北殿町の境で窃盗、賊は城山方面に姿を消す【12月23日付山】</li> </ul>
1891（明治24）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月14日、杜騙 （要約）寸借詐欺容疑の人物、城山の記念碑を拵みに赴く途中で警察に捕縛される【1月14日付山】</li> <li>・1月16日、乞食の所為なるか （要約）過日来城山二松亭で毎夜勝手に火を用い、煮炊きするものあり【1月16日付山】</li> <li>・3月10日、送別会 （要約）一昨日城山二松亭で今度高等師範学校入学を許された尋常師範学校訓導齊藤弥作氏のため師範学校生徒の送別会が行われた【3月10日付山】</li> </ul>

- ・3月11日、消防演習 （要約）昨日、松江市役所は城内二の丸に市内消防組を招集して市職員立ち会いの下消防演習を行う予定であったが二組のみの参加で、後日再び招集すること【3月12日付山】
- ・3月20日、三条故内府の追悼祭 （要約）来29日城山において故三條内府（三条実美）の追弔会を行う【3月20日付山】
- ・3月21日、広告 （要約）29日三條大勲位の追悼祭を城山に於いて挙行す。当日午後2時より【3月21日付山】
- ・3月23日、○鳥取県技師（中学校長嘱託）石田二男雄（理学士）中学校ニ來訪、相伴フテ架橋中ノ大橋上下ヲ巡覧シ又城山ニ行キ天主閣ニ登り、末次遊園松勢水亭ニテ斎藤氏等四、五名ト共ニ石田氏ノ為メニ懇親会ヲ開キ、【西田千太郎日記】
- ・3月24日、広告 （要約）29日三條大勲位の追悼祭を城山に於いて挙行す。当日午後2時より【3月24日付山】
- ・3月27日、ヘルン氏の狐 （要約）ヘルン氏散歩の際に或稻荷社の奉納狐に興味を持ち、城山稻荷など市内各所の狐像の写真を殿町の写真家森田禮造氏に撮影を依頼する【3月27日付山】
- ・3月29日、故三条公追悼祭 （要約）一昨日（29日）城山において挙行された三條実美追悼祭の詳報【3月31日付山】
- ・4月28日、松江婦人衛生会 （要約）松江婦人衛生会は来月3日午前11時城山二松亭で撮影を行う【4月28日付山】
- ・5月15日、籠手田氏の送別会 （要約）来19日、城山において前島根県知事籠手田安定氏の送別会を行うこと【5月15日付山】
- ・5月16日、広告 （要約）松江城山において旧島根県知事籠手田安定氏の送別会を行う。発起人名簿に高城権八の名前も見える。当時の新聞には送別会を中止するべきとの記事もみえる【5月16日付山】
- ・5月30日、朝ヘルン氏方ニ井上氏〈井上円了〉ニ逢フ。午后同氏中学校ニ来リ相伴フテ天守閣ニ登ル【西田千太郎日記】
- ・6月26日、大弓会 （要約）去21日に開催の城山での大弓会は雨天のため28日に開会【6月26日付山】
- ・7月7日、市役所建築位置の模様 （要約）去土曜日の懇親会で市役所設置の候補地に三丸跡の松平家所有地内を借受けんとする説が出された【7月7日付山】
- ・7月7日、知事末松氏を訪ぶ （要約）一昨日（7日）篠崎知事は午後7時頃腕車で城山公園内を散策し、帰路片原町に滞在中の末松謙澄氏と数時間に亘り会談する【7月9日付山】
- ・7月14日、練兵演習 （要約）本日篠崎知事は、尋常師範学校生徒の英仏両体操を一覧するため、午前7時より二の丸練兵場において観兵式および体操を挙行する【7月14日～15日付山】
- ・7月13日、師範学校卒業生の写真 （要約）一昨日（13日）城山において師範学校卒業生の撮影。凡日本服と兵児帯の出で立ちであった【7月15日付山】
- ・7月16日、ヘルン氏ヲ訪ヒ、フロレンツ氏ト伴ヒ天主閣ニ登リ、市中散歩、望湖樓ニ同氏ノ饗ヲ受ク【西田千太郎日記】フロレンツ氏大学教師・ドイツ人【7月8日付西田千太郎日記】
- ・7月18日、中学校卒業証書授与式ヲ了シテ教員及卒業生一同城山ニ撮影ス【西田千太郎日記】※城山二本松下デ撮影【西田千太郎日記所収写真】
- ・7月19日、当中学校教員卒業生の写真 （要約）昨日卒業証書授与式の後中学校教員および卒業生一同は城山記念碑前において卒業写真の撮影【7月19日付山】
- ・8月19日、城山記念碑に参詣者多し （要約）賽銭箱設置、祈願に百度千度参りなど【8月19日付山】
- ・8月20日、城山大弓場 （要約）一節は野合場になっていたが、近頃毎夜寝泊まる者あり、番人が戸締まりするが、石垣など平気でよじ登る【8月20日付山】
- ・8月30日、一昨夜の月（世俗來迎） （要約）一昨夜の月。弥陀三尊の来迎を挙せんと城山などにも出向く者多い【9月1日付山】
- ・9月13日、実業家懇話会 （要約）本日実業者農話会を城山二松亭にて開会。品評会、講話を聞くこと【9月13日付山】
- ・9月13日、実業者農話会 （要約）一昨日（13日）城山二松亭にて開催の実業者農話会について、40余名出席。講話や農作物品評会を行ったこと【9月15日付山】
- ・9月14日、昨日の暴風災害 （要約）城山公園二松亭前の2喬。直政公手植えの松が折れる【9月15日付山】
- ・9月29日、広告 （要約）旧松江城内二の丸 松木壱本、但し目廻し八尺。入札の上売却10月2日に限り城山事務所に入札。松平家家從【9月29日付山】
- ・9月30日、広告 （要約）旧松江城内二の丸 松木壱本、但し目廻し八尺。入札の上売却10月2日に限り城山事務所に入札。松平家家從【9月30日付山】
- ・10月23日、市長の調停 （要約）昨日（23日）、市内魚鳥会社の紛議の調停を城山二松亭において福岡世徳市長が原告総代人を招いて行うが、調停成らず【10月24日付山】
- ・11月10日、市内小学校の聯合大運動会 （要約）本日市内五尋常小学校は聯合運動会を二の丸において行う。雨天順延【11月10日付山】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月1日、県会議員中の民党组织 (要約) 近日中に県会議員 (県内の自由党・改進党) 城山二松亭に集まり、民党组织を結成する計画【12月1日付山】</li> <li>・12月20日、愛國敢為会 (要約) 殿町二の丸公園内の坂口某宅にて愛國敢為会を開く。毎月5回演説会を開き耶蘇教の聖書を攻撃し、同教が雲國に与える影響を論じ、機関誌「本魂」を発行すると伝える【12月20日付山】</li> <li>・12月20日、出雲農会 (要約) 一昨日20日城山二松亭で第二回出雲農会を開催した。出展数、参加者など【12月22日付山】</li> </ul>
1892(明治25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月6日、広告 (要約) 旧松江城内二の丸 松木一本、本月10日入札の上売却、城山事務所にて入札を差出す【3月6日付山】</li> <li>・3月8日、広告 (要約) 旧松江城内二の丸 松木一本、本月10日入札の上売却、城山事務所にて入札を差出す【3月8日付山】</li> <li>・3月13日、松の操 (要約) 昨秋の暴風で折れた松江城内二の丸跡の松を殿町の川津佐太郎が代金で入札。直政手植えの松と伝わり、額面を挽いて樂山神社に奉納する素志があるとのこと【3月13日付山】</li> <li>・3月31日、広告 (要約) 之を見さる者は野蛮の人なり 米国エジソン氏発明の蘇音機が到着し、30日から3日間、城山二松亭において展示する【3月31日付山】</li> <li>・4月3日、多々納氏の蘇音器 (要約) 城山二松亭で縦覧した多々納氏所有の蘇音器は昨日閉場。今後別の場所で貸し出し縦覧するという (学校などの縦覧に供する用意) 【4月5日付山】</li> <li>・4月6日、城山稻荷の足高行 (要約) 十三年に一度の (ホーランエンヤ) ノ準備など【4月6日付山】</li> <li>・4月6日、緊急広告 (要約) 松江城山稻荷神社社務所より當社神幸にあたって寄附を求める人物に注意する事【4月6日付山】</li> <li>・4月9日、寄付金詐取の義を以て拘引 (要約) 城山稻荷神社神幸に際して、詐取の儀で拘引【4月10日付山】</li> <li>・4月20日、羽左田太田両氏の送別会 (要約) 昨日(20日) 城山二松亭にて午後送別会を開く出席者福岡市長、高橋助役。各学校訓導等50余名。渡辺寛一郎氏の別辞朗読など【4月21日付山】</li> <li>・4月21日、射的複た行はる (要約) 城山の射的場はこの頃毎日盛況。籠手田知事の盛んにした作用故か【4月21日付山】</li> <li>・4月23日、生馬生徒の運動会 (要約) 昨日(23日) 島根郡生馬尋常小学校男女生徒一同、城内の櫻花を一覽し、同所で写真を撮影し、帰途菅田村有澤山荘で運動会を行う【4月24日付山】</li> <li>・4月28日、松江祭 (要約) 織原万次郎、和田正幸、吉田次郎等諸氏の発起人は、爾来年1回城山において招魂祭を行い、今後樂山神社をこの地に移転し、松江祭として市人一同相祝う計画がある【4月28日付山】</li> <li>・4月29日、松江祭に付き (要約) 昨日記載の松江祭について不日準備のため城山二松亭において各町の有志が準備会を行う。また、発起人は福岡世徳、清原宗太郎、松本觀次郎、原源藏の四氏【4月29日付山】</li> <li>・4月中、千鳥城の修繕 (要約) 亀田山千鳥城の天狗間丈の修繕を行い余りは追々執り行う。4月よりその一部分の修繕に着手する【3月15日付山】</li> <li>・5月1日、ヘルン氏所望の写真 (要約) 中学校元教員のヘルン氏が当市に書状を寄せて、今度米國シカゴ博覧会で出品の材料とするため松江母衣尋常小学校の女子一・二年の生徒の写真を送る願いにつき、その依頼に応じ、生徒一三人を連れ、城山で写真を撮影する【5月1日付山】</li> <li>・5月7日、松江祭 (要約) 松江祭の計画について。城山公園に樂山神社を遷座する。祭日には城山で相撲、弓馬の大会を催すなど【5月7日付山】</li> <li>・5月7日、城山稻荷の足高行き (要約) 14日から【明治25年5月7日付山】</li> <li>・5月7日、杵築八雲会 (要約) 昨日(7日) 城山二松亭で開催。神門郡杵築の出身者と学生による会。今後1回開催とのこと【5月8日付山】</li> <li>・5月10日、松江祭委員会 (要約) 昨日(10日) 開催の松江祭委員会で、福岡世徳市長発揮人総代として趣旨説明し、猪服定重氏から天守閣を日本の美術として保存したいとの演説が行われる【5月11日付山】</li> <li>・5月11日、神幸式に就ての争論 (要約) 城山稻荷神幸式での争論があった【5月11日付山】</li> <li>・5月13日、寄書 (要約) 奥村鉄幹氏が「松江祭に就て」との題で松江の開府について纏め、松江開祖たる堀尾吉晴も祭るべきだと述べる【5月13日付山】</li> <li>・5月13日、広告 (要約) 城山稻荷神社 稲荷神社神幸式開催【5月13日付山】</li> <li>・5月14日、松江城山稻荷ノ出雲神幸祭アリ【西田千太郎日記】</li> <li>・5月13~14日、松江祭の発企者及び各町委員の総会と士族会 (要約) 一昨日(13日)、松江祭の会議。昨日(14日)士族会を開催。28・29日に堀尾吉晴、松平直政、西南戦争戦没者招魂祭を行うこと【5月15日付山】</li> <li>・5月15日、14日、城山稻荷の神幸 (ホウランエーヤ) (要約) 城山稻荷神社の神幸式の概況。通路北堀川より【5月15日付山】</li> <li>・5月17日、樂山神社の神輿渡御 (要約) 本年は城山に渡御すること【5月17日付山】</li> </ul>

- ・5月21日、（要約）広告、松江城山稻荷神社神幸還御式。22日、当日は字劍先と着船時城山到着時に祝砲を放つ  
【5月21日付山】
- ・5月22日、城山稻荷還御式ヲ視テ帰ル【西田千太郎日記】
- ・5月22日、懐旧の情果して如何（楽山神社の渡御）（要約）来る28日城山で行われる楽山神社の祭礼。御輿渡御について楽山より船で津田村旧馬場に入り、旧藩主の御国入の例にならう計画【5月22日付山】
- ・5月22日、城山稻荷の還御式（要約）去る22日の城山稻荷の還御式の概況。市内の堀を廻り城山へ還御する  
【5月24日付山】
- ・5月24日、右小機動演習一般の仮想（要約）當尋常中学校生徒一同による小機動演習及び遠足運動。29日に城山において記念祭挙行、分列式を行う【5月24日付山】
- ・5月24日、広告（要約）松江祭 城山において 28日・29日【5月24日付山】
- ・5月24日、広告（要約）楽山神社 今年は、城山仮殿に神輿を渡御すること。祭礼の予定【5月24日付山】
- ・5月25日、広告（要約）松江祭 城山において 28日・29日【5月25日付山】
- ・5月25日、広告（要約）楽山神社 今年は、城山仮殿に神輿を渡御すること。祭礼の予定【5月25日付山】
- ・5月26日、広告（要約）松江祭 城山において 28日・29日【5月26日付山】
- ・5月26日、広告（要約）楽山神社 今年は、城山仮殿に神輿を渡御すること。祭礼の予定【5月26日付山】
- ・5月27日、松江祭に関する彙報（要約）城山内での式、催しについて説明【5月27日付山】
- ・5月27日、広告（要約）松江祭 城山において 28日・29日【5月27日付山】
- ・5月27日、広告（要約）楽山神社 今年は、城山仮殿に神輿を渡御すること。祭礼の予定【5月27日付山】
- ・5月28日、○市中有志者ノ計画ニテ本年ヨリ松江祭ナルモノヲ始メ本日及明日之ヲ施行ス。予モ金壺円ヲ寄贈ス。本日ハ楽山神社城山ニ渡御アリ。其式ハ古風ヲ用ヒ、甲冑ノ武装者等隨從セリ。其道筋ハ楽山ヨリ舟ニテ津田馬場ニ渡リ、同所ヨリ行列ヲ整ヒ城山ニ至リ祭典ヲ施行シ、夜ニ入りテ石橋、河津村ヲ経テ還幸。擊剣、烟火等ノ奉納アリ、遊人群集セリ【西田千太郎日記】
- ・5月28日、松江祭（要約）（新聞記者の論説記事）【5月28日付山】
- ・5月28日、松江祭りに関する雑件（要約）神殿は記念碑前に間口四間奥行六間【5月28日付山】
- ・5月28日、広告（要約）松江祭 城山において 28日・29日【5月28日付山】
- ・5月28日、広告（要約）楽山神社 今年は、城山仮殿に神輿を渡御すること。祭礼の予定【5月28日付山】
- ・5月29日、松江祭ノ第二日ニ当リ城山ニ於テ堀尾吉晴及西南役戦死者ノ靈ヲ祭ル【西田千太郎日記】
- ・5月29日、松江祭（要約）祭堀尾吉晴朝臣文、祭西南殉難者文【5月29日付山】
- ・5月29日、松江祭の景況（要約）（廿八日）【5月29日付山】
- ・5月29日、城内の景況（要約）三千人を越える人々が城内に集まる【5月29日付山】
- ・5月29日、広告（要約）松江祭 城山において 28日・29日【5月29日付山】
- ・5月29日、広告（要約）楽山神社 今年は、城山仮殿に神輿を渡御すること。祭礼の予定【5月29日付山】
- ・5月31日、29日の松江祭の景況（要約）堀尾吉晴の甲冑展示【5月31日付山】
- ・5月31日、掏摸二つ（要約）一昨日（29日）城山にて盜難事件【5月31日付山】
- ・6月21日、論説 松江市の将来（要約）（未完・城下町成立について述べる）【6月21日付山】
- ・6月26日、追善大弓会（要約）7月3日午後一時より城山射的場にて旧松江藩弓術師故木村供左衛門氏の13回忌に相当のため旧門弟などの発企で開催する【6月26日付山】
- ・7月3日、納涼（要約）納涼の風景として城山公園、大橋橋上など紹介【7月3日付山】
- ・7月3日、追善弓会（要約）旧松江藩弓術師故木村供左衛門氏の追善弓会は予記のごとく一昨日（3日）城山射的場で開催、30名参加し、饗応もあり盛会であった【7月5日付山】
- ・7月5日、末本厚親俱楽部の第一総会（要約）一昨日（5日）午後三時より城山二松亭にて末本厚親俱楽部の第一総会が開催された【7月7日付山】
- ・7月7日、就て二件（花瘦情仙投）（要約）松江の風光に就いて（城山公園について天主閣からの観望 松江の情景を末松謙澄・井上円了などの評を踏まえ評論する）【7月7日付山】
- ・7月12日、名義を詐称して金員を募る（要約）愛國敢為会（殿町旧二の丸内）の元会員、名義を詐称して金員を募ったとして今度告訴の準備中であると。愛國敢為会（耶蘇教徒放逐を訴える団体）【7月12日付山】
- ・8月6日、天守閣崩壊（要約）過日の暴風雨のため天守閣下府東南隅の屋根五・六間の崩壊を発見する【8月6日付山】
- ・8月25日、千鳥城の天守閣修繕（要約）かねて噂のあった天守閣を修補して美術標本にすることについて其儀を漸く一步進め近日佐藤喜八郎・岡崎運兵衛氏等の集儀する筈なりと【8月25日付山】
- ・8月30日、松江城天主閣旧觀保存（要約）維新以降城郭が破壊される現状と松江城の天守旧觀も徐々に破壊されることに対し悲しむことと。修補して共進会議と美術品展覧所に充てることなど考えを示し、岡崎運兵衛氏（他の諸氏名も見える）などの発起で松平伯爵の許諾を得て修理する。協賛金の募集をあてること【8月30日付山】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月3日、千鳥城天守閣借受けの依願　（要約）天守閣を修補して美術標本陳列場に充てんとする考えを先に記載したが、発起者佐藤喜八郎、岡崎運兵衛、松本勤次郎、山内佐助、福岡世徳、三島佐次右衛門等諸氏弥其儀を一決し、天守閣を借り受け将来農産品工芸品の共進会場に充てるよう修繕を有志者で行うように、一昨日依願書を東京の松平伯爵へ送付した。依願書の許可が届き次第に趣意書を発表する【9月3日付山】</li> <li>・ 9月10日、松江城天守閣旧観保存趣意書　（要約）天守閣旧観保存の企て、本日午後五時より雲陽館で集会。発起者より有志者の同意を求める趣意書が出された。（趣意書全文を掲載）【9月10日付山】</li> <li>・ 9月10日、松江城天守閣修繕計画要領　（要約）天守閣旧観保存の企ては、本日午後五時より雲陽館で集会。趣意書。天守閣の修繕の見積もり二五〇〇円。大凡九六〇・七〇円は各郡から広く募集する。依願書について一昨日松平家より承諾の返答【9月10日付山】</li> <li>・ 9月10日、松江城天守閣旧観保存協議会　（要約）去る10日雲陽館での同会で、120～30名来会し福岡世徳氏趣意書を頒布し、趣旨を説明する。費用見積もりの2500円の内1000円を各郡有志者が負担し、残り1500円を松江市有志者が負担する。その他5つの議題を協議する。松浦佐左衛門氏天守閣の本来の由来と松江城天守閣の小沿革を略説し、一同本件に関わる雑談を行い散会。附記各町に委員を設け義捐募集を行う都合【9月13日付山】</li> <li>・ 9月18日、天守閣保存仕様の希望　（要約）天守閣の外観についての要望の意見【9月18日付山】</li> <li>・ 9月20日、千鳥城天守閣修繕各町委員会　（要約）一昨日午後六時より望湖楼にて開催。参加者五十余名。発起者福岡世徳氏より本日は天守閣修繕の義捐金募集方法について評決するとの挨拶。南田町委員永井卓一氏より原案の調査の有無について質問。発起人三島佐次右衛門氏より原案といえる書類は無いが、参考のため取り調べた書類があるとしてそれを朗読する。（以下、天守修繕見積もりと義捐金募集の割合、修理計画見積もりを載せる） 【9月20日付山】</li> <li>・ 9月20日、松江実業協会の懇親会（天守閣騒ぎ）　（要約）再昨日常栄寺で行われたが、会幹三島和一郎氏より天守閣修復中止を発起人に訴える挨拶を行う。（馬渕浚渫工事を含め天守閣修繕予算の見積もりに対する疑義が出されたこと。これらの事業に対する調査委員の招集を訴え、三島和一郎氏を含めた諸氏が調査委員が任命され、今度調査委員会を行う）【9月20日付山】</li> <li>・ 9月20日、天守閣の保存反対　（要約）（妨害に動いている者がいるらしいとの記事）【9月20日付山】</li> <li>・ 9月20日、泥棒屋敷へ泥棒に罷越候　（要約）（出獄後に三ノ丸の堀を渡り監獄に泥棒に入った人物の話） 【9月20日付山】</li> <li>・ 9月20日、弓術の大会　（要約）明後日午後一時より城山矢場に於て弓術の大会を開く予定【9月20日付山】</li> <li>・ 10月5日、広島県尋常師範学校生徒の学校参観　（要約）一昨日（3日）来松、昨日（4日）午前七時三ノ丸練兵場に至り當師範学校生徒の兵式体操を見る。今朝米子へ【10月5日付山】</li> <li>・ 10月8日、三夜の月　（要約）城内も賑やかに見物者がいた【10月8日付山】</li> <li>・ 11月1日、吉川子爵の帰国　（要約）昨日（1日）千鳥城等を一覧し、夜有沢山荘に招待を受け、本日飯石郡経由で広島に出て帰国【11月2日付山】</li> <li>・ 11月3日、弓術会　（要約）横山彦七・木村金市両氏の発起にて本日午前10時より城山弓術場において弓術会を催し併せて祝宴を張るという【11月3日付山】</li> </ul>
1893（明治26）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2月10日、師範中学の儀式　（要約）當尋常中学校明日紀元節に就き、御真影の拝賀式、午前10時より二ノ丸練兵場で分列式を行う【2月10日付山】</li> <li>・ 2月11日、中学校ニテ拝賀式ヲ行ヒ、予、一演説ヲナセリ。了テ城山ニ於テ一斎發火ヲナス【西田千太郎日記】</li> <li>・ 2月11日、一斎射撃　（要約）當尋常中学校、本日午前九時拝賀式を行い、その後城山において一斎射撃を行う筈【2月11日付山】</li> <li>・ 3月8日、天守閣に歴代国主の肖像を掲げんとす　（要約）天神町の山本信太郎氏は堀尾吉晴公を始めとして歴代の松江藩主の肖像を天守閣最上樓に掲げることを計画し、松平直亮伯へ願い出る。もし歴代国主の肖像を所蔵するものがあれば、書工を同伴し該家まで写取りに赴かんと奔走中とのこと【3月8日付山】</li> <li>・ 4月13日、松江策（一）　（要約）松江市の位置。松江の評論の出だしに「天守閣」を記述する【4月13日付山】</li> <li>・ 4月16日、城山ノ桜花ヲ看（一、二日前満開）、【西田千太郎日記】</li> <li>・ 4月18日、有澤と城山　（要約）有澤山荘と城山の桜の名所について比較。花見客は城山に多く赴くようになっている訳【4月18日付山】</li> <li>・ 4月26日、学校新築ノ議案、本年ノ議会ニ提出ノ都合トナリシヲ以テ敷地ヲ至急撰定スルノ要アリ。県庁ノ見込ニテハ旧三ノ丸迹トナスニアルモノトシテ雖モ尚赤崎辺ニ好地位アリト報スルモノアリシヲ以テ、本日浅井、永井諸氏ト行テ検ス【西田千太郎日記】</li> <li>・ 4月29日、外国人天守閣修繕費に義捐す　（要約）当市滞留する耶蘇宣教師ノウエル・バックスン氏（29日）本社に訪れ天守閣修繕の声があると聞き修繕費10円を義捐する。同氏は頃日天守閣を縦覧しその構造実に堅牢なるも外部頽廃より延いて内部腐食せることあれば誠に惜しみ。保存会に寄附すると【4月30日付山】</li> <li>・ 5月11日、○浅井、石田二氏ト共ニ天守閣ニ上り、寄宿舎ニ立チ寄ル【西田千太郎日記】</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月30日、○氏内各小学校生徒ノ連合大運動会ヲ城内ニ行ヒ、中学校職員モ按内ヲ受ケタルニヨリ、金壱円五十銭ヲ寄贈ス【西田千太郎日記】</li> <li>・ 5月30日、市内小学校連合運動会 （要約）予記の如く昨日（30日）午前9時過ぎより旧城内二ノ丸に於いて開催。市内の学童3000名ばかり集う【5月31日付山】</li> <li>・ 8月6日、垂釣口罰 （要約）三ノ丸西城の堀や北堀川で釣を行った者に対する過料【8月6日付山】</li> <li>・ 8月20日、大弓射會 （要約）幡垣角市・木村金市氏等の発起にて本日城山弓射場に於いて大弓射會を催す由。【8月20日付山】</li> <li>・ 10月11日、ファンデス氏消息 （要約）昨日（11日）午後糸子から松江に来て、城山天守閣を縦覧する。（ファンデス氏は元英國海軍大佐佛教研究者、仏教演説会を来松中に開催する）【10月12日付山】</li> <li>・ 10月14日～15日、本県事項 （要約）降雨が酷く市内浸水、23日に水はようやく引いた。【明治27年1月4日付附山】</li> <li>・ 10月16日、全ク浸水セザリシハ白潟本町ニシテ、天神町、灘町ノ大部亦然リ。其他ハ城山ヲ始メ山辺附近ノ地ノミ浸水セズ【西田千太郎日記】</li> <li>・ 10月19日、松江の大洪水 （要約）（一般的な景況）【10月19日付山】</li> <li>・ 10月19日、松江監獄の水害 （要約）（松江市内の水害被害。松江監獄はお花畠に所在。三ノ丸の小塚に炊場を仮設した）【10月19日付山】</li> <li>・ 11月5日、（要約）10月の水害での松江市内の浸水地域の地図を載せる。（三ノ丸と城山は浸水していない）【明治26年11月5日付山】</li> </ul>
1894（明治27）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2月16日、松江市宿屋業組合の総会 （要約）明日（16日）、当市橋南北の宿屋同業者、城山二松亭において組合総会を開く、殿町宿屋業組合は組合不要論を唱え不参加、26年度決算報告を行い、懇親会を行う【2月15日付山】</li> <li>・ 2月16日、井戸の中より賊物現る （要約）昨日（16日）午前殿町旧城内入口の井戸に投身者ありとの噂があり、同所にかけつけてみれば、衣類数点が投げ込んであり、見つけた人は警察に届け出た。賊が盗品を投げ込んだのではないかとの評判【2月17日付山】</li> <li>・ 2月16日、松江市宿屋業組合総会 （要約）予記の如く昨日午後城山二松亭にて総会。参加者50余名。報告後、正副組合長の選挙し、選出。減税運動について話し合い。殿町の不参加についての意見を載せる【2月17日付山】</li> <li>・ 2月24日、司令官の馬逸して県庁構内を騒がす （要約）伊津野當大隊区司令官昨日（24日）乗馬にて三ノ丸の前を通った処、馬が急に暴れ出し、落馬し、県庁構内を暴れ廻る【2月25日付山】</li> <li>・ 3月2日、【広告】三月九日、大婚廿五周年祝典を開催（要約）福岡世徳・佐藤喜八郎へ参加者は申し込みのこと。発起人一覧（高城権八の名ものる）あり（明治天皇）【3月2日付山】</li> <li>・ 3月4日、大婚二十五年祝典（松江市） （要約）城山公園の祝典。市公務員が発企として城山公園で祝典を行う予告をしていた。当日祝砲を撃つことは、その筋の許可がおりず、さらに当日に限り特別に許可すとの話もある。記念碑前に台を設置し、開会に際し祝文を朗読し、宴たけなわの時に宮内大臣に祝文を執奏する電報依頼し、銀紙製の気球をあげる計画である【3月4日付山】</li> <li>・ 3月4日、【広告】三月九日、大婚廿五周年祝典を開催 （要約）福岡世徳・佐藤喜八郎へ参加者は申し込みのこと。発起人一覧（高城権八の名ものる）あり（明治天皇）【3月4日付山】</li> <li>・ 3月8日、根付き相生の松 （要約）明日の祝賀に城山に記念の相生の松を植え、須衛都久神社から花車を出すこと【3月8日付山】</li> <li>・ 3月9日、本日ヲ以テ両陛下御結婚式拾五年祝典ヲ挙ゲラル。実ニ未曾有ノ成典ニシテ、（中略）我中学校ニテハ御真影拝賀、教員総代及生徒総代奉賀文（各宮内大臣ヲ経テ奉呈セリ）ヲ朗読シ、式終リテ城山ニ一斉射撃ヲナシ、尚ホ市中運動ヲナシ帰校、萬歳ヲ唱テ一旦解散。（中略）城山ニハ市民ノ祝賀会アリ、【西田千太郎日記】</li> <li>・ 3月9日、師範学校奉祝式の予定 （要約）師範学校・中学校は、二の丸練兵場にて一斉射撃を行うこと【3月9日付山】</li> <li>・ 3月9日、城山の祝賀会 （要約）大凡千名余。福岡世徳市長の祝文を奉じ。発起人年長者高城権八氏また祝意を表し、天皇皇后両陛下の万歳を称せし【3月11日付山】</li> <li>・ 3月9日、中・師範学校の祝砲 （要約）城山で祝砲の概況を伝える【3月11日付山】</li> <li>・ 3月11日、茶町の相生松 （要約）花車を城山へ繰り出す。記念の松を植樹【3月11日付山】</li> <li>・ 3月23日、快晴ニ乗ジテ城山ニ散歩ス【西田千太郎日記】</li> <li>・ 4月3日、○旧交会ノ催ニテ若槻氏ノ為ニ懇親会ヲ城山（記念碑附属ノ一亭）ニ開ク。【西田千太郎日記】</li> <li>・ 4月7日、城山ノ桜花正ニ満開、例年ニ比スレバ稍早シ【西田千太郎日記】</li> <li>・ 4月8日、櫻 （要約）城山は彼岸桜は散り、山櫻の早きものは恰も満開【4月8日付山】</li> <li>・ 4月10日、定安公年譜編纂 （要約）嘉永六年より明治六年に至るまでの定安公の年譜を編纂する。旧記を広く収集すること【4月10日付山】</li> <li>・ 4月11日、【広告】旧松江藩諸君に広告す （要約）（定安公年譜編纂に付き藩政・公の身辺に関わる資料の借覧を願う。松平家扶）【4月11日付山】</li> <li>・ 4月13日、【広告】旧松江藩諸君に広告す （要約）（定安公年譜編纂に付き藩政・公の身辺に関わる資料の借覧を願う。松平家扶）【4月13日付山】</li> </ul>

- ・ 4月15日、【広告】旧松江藩諸君に広告す (要約) (定安公年譜編纂に付き藩政・公の身辺に関わる資料の借覧を願う。松平家扶) 【4月15日付山】
- ・ 4月20日、【広告】旧松江藩諸君に広告す (要約) (定安公年譜編纂に付き藩政・公の身辺に関わる資料の借覧を願う。松平家扶) 【4月20日付山】
- ・ 4月25日、【広告】旧松江藩諸君に広告す (要約) (定安公年譜編纂に付き藩政・公の身辺に関わる資料の借覧を願う。松平家扶) 【4月25日付山】
- ・ 5月5日、松江米穀取引所開業式 (要約) 松江米穀取引所開業式、城山公園で園遊会、二ノ丸練兵場で相撲興行 【5月6日付山】
- ・ 5月6日、一昨日の城山公園 (要約) 松江米穀取引所は一昨日(6日)午前取引し、午後より所員一同、取引関係者を含め城山にて祝宴を開く。和多見の芸妓も集まり、余興の相撲もあり、前日と違い縦観勝手次第としたので多くの見物人あり【5月8日付山】
- ・ 5月9日、御巡幸に関する詳報 (要約) 松江の行在所 過般御巡幸の噂以来、市有志者間で三の丸へ行在所を二の丸公へ御休憩所を新築せしには当市は好位置にあり、種々の相談があり、今度協議会を開くとのこと【5月9日付山】
- ・ 5月9日、中学建設と警察署移転 (要約) 中学が生徒数増で狭隘になり、一時三の丸跡を借用し新築するとの相談もあり、今度、松江警察署を移転し、中学と警察署の間の土地を取得して建設との計画も出された【5月9日付山】
- ・ 5月17日、天守閣修繕発起人会 (要約) 天守閣修繕についてその後消息を聞かなかつたが、天皇巡幸があり、一日も猶予がないとの意見もあり、発起人他20余名本日末次本町臨水亭で協議を為すという【5月17日付山】
- ・ 5月19日、御巡幸に関する準備の協議 (要約) 昨日(19日)午後5時より市会議事所において開催。市参事会及岡崎運兵衛、佐藤喜八郎両氏に協議材料(仮令は行在所は如何なるものを建築すべきものなるや行在所の位置及其建設に要する費用如何等)取締め方を委嘱するに決し、両名も承諾した【5月20日付山】
- ・ 5月22日、松江城天守閣修繕の事 (要約) いよいよ着手の事となり広く工事の入札を募ることは本日の本紙広告に在り就て之を見よ【5月22日付山】
- ・ 5月22日、広告 (要約) 松江城天守閣修繕の工事入札広告が出される【5月22日付山】
- ・ 5月23日、広告 (要約) 松江城天守閣修繕の工事入札広告が出される【5月23日付山】
- ・ 5月24日、広告 (要約) 松江城天守閣修繕の工事入札広告が出される【5月24日付山】
- ・ 5月29日、知事書記官の用意周到 (要約) 旧城址三ノ丸を以て行在所にあてる計画が既に与論としてあり、知事書記官において、監獄が隣にあるため夜間声音が洩れ無いか、舞夜微行して確認した。靴音などが聞こえたので其の手当が必要であるとのこと【5月29日付山】
- ・ 6月1日、天守閣修繕工事入札 【明治27年5月22日付山広告、明治27年6月2日付山】
- ・ 6月2日、天守閣の修繕工事 (要約) 入札は昨日(1日)松江銀行にて開き、入札者9名の内、殿町の白石伊織が最下札であるが、本日夕刻、臨水亭で発起人集会を開き、入札結果に落札諾否し、義捐金募集についても協議する。修繕工事は来る10日より着手し竣工期日は来る9月30日なり【6月2日付山】
- ・ 6月2日、天守閣の修繕の事 (要約) 発起人集会協議、白石伊織へ1950円で天守修繕を請負。発起人から選挙で工事主任を選出、三島佐次右衛門、桑原洋次郎、大島新四郎、織原萬次郎、園山伊助当選【6月5日付山】
- ・ 6月4日、行在所の位置の内談 (要約) 佐藤喜八郎、福岡世徳、松平家々扶足羽中次郎の三氏、一昨日(4日)県庁に出頭、大浦知事に面会して種々協議する。専ら三の丸位置をもってその議を擬せると【6月6日付山】
- ・ 6月6日、行在所と松平伯 (要約) 明年いよいよ県下へ御巡幸があることについて松平伯より行在所築設ため旧城内の地を要する時は、その協力を惜しまないことと建設費も相当の責任を負ふとして、既に当地の家扶へもその旨を伝えたとのこと【6月6日付山】
- ・ 6月10日、天守閣修繕手斧初式 (要約) 松江城天守閣修繕工事開始【6月10日付山】
- ・ 6月10日、知事以下の天守閣修繕費用義捐 (要約) 今回の松江城天守閣修繕について知事以下の判任官より金127円を義捐送付の旨を知事より発起人へ通知あり【6月10日付山】
- ・ 6月22日、御巡幸に関する各町惣代会 (要約) 各町惣代会で行在所新設の位置に、権現沖湖水埋立地、旧城二の丸或いは三の丸跡、望湖楼付近地、三谷権太夫氏宅など候補地が出される【6月24日付山】
- ・ 6月25日、御巡幸に関する準備委員会 (要約) 昨日午後五時より市役所で行在所に関する協議、旧二の丸、権現沖、望湖楼近在地、三谷権太夫氏の灘地などの好適地と定め委員9名を選んで二週間調査する。委員には松本觀次郎氏他が当選し、調査結果をもって開会【6月26日付山】
- ・ 7月19日中学校卒業証書授与式挙行。予モ一席ノ演説ヲナセリ。(中略) 終リテ卒業生等一同城山ニ撮影ス【西田千太郎日記】
- ・ 8月3日、松平伯邸(菓子八十四錢一箱ヲ持チ行ク)ニ家扶山口亮ニ面会ス。伯爵ハ昨今沼津ニ避暑不在。中学校敷地ニ旧三ノ丸跡ヲ貸与スルコトニ異存ナキコトヲ確メ、松江ニテノ風説ニ同処借受ハ到底望ナシトイヘルハ為ニスル處アリテ或人々ガ故ラニ流布セル處ナルヲ知レリ。此件ニツイテハ岸氏ニ手数ヲ掛ケタリ【西田千太郎日記】(西田千太郎、7月20日松江発、東京に滞在中)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月15日、広告 （要約）城山紀年碑前に戦勝祝宴會を開く。発起人に高城権八の名あり 【8月15日付山】</li> <li>・ 8月15日、昨日の勝利祝宴會 （要約）昨日（15日）城山記念碑前で挙行。参会者1200余名事務所二松亭に置き、記念碑前に演壇を設置した 【8月16日付山】</li> <li>・ 9月4日、天守閣の修繕竣工近し （要約）松江の壯觀天守閣の修繕は夏季中降雨少く執業容易なりし為め本月中には竣工の見込みなり昨今は瓦葺中なりと 【9月4日付山】</li> <li>・ 9月6日、二ノ丸ニ中学校生徒ノ「ベースボール」ヲ観ル 【西田千太郎日記】</li> <li>・ 9月30日、天守閣修繕竣工。工事関係者名簿の墨書 【昭和三十年松江城天守閣修繕工事報告書】</li> <li>・ 11月13日、天守閣の修繕竣工 （要約）城山天守閣の修繕は昨日（13日）を以て全く竣工せし以て両三日中に委員に引渡す筈なりと 【11月14日付山】</li> <li>・ 11月18日、松江城天守閣修繕工事竣工 【12月17日付山】</li> <li>・ 11月26日、去ル二十一日我軍艦旅順口ヲ攻撃シ、廿二日朝之ヲ占領セリトノ公報達シ、昨今ハ市民ノ狂喜祝宴等々ノ催アリ。我中学生ハ一齊射撃ヲ朝城山ニ試ミ、午後北京攻陥ノ擬戦等ヲナセリ 【西田千太郎日記】</li> <li>・ 11月26日、広告 戰勝大祝宴會（要約）城山を含めた市内各所で日清戦争勝利の祝賀 【11月26日付山】</li> <li>・ 12月8日、戦利品の拝借叶ふ （要約）当市より亀田城内に陳列して衆庶の縦覽を願うため出願した戦利品の拝借の事、往復を除き1週間の見込みで五十八点聽許の旨一昨日電報来る 【12月8日付山】</li> <li>・ 12月9日、天守閣修繕発起人会 （竣工式の日取り、義捐金の支払い者への優待、各種学校生徒、県内軍人家族への天守閣無料登閣など決定） 【山陰新聞】、【西田千太郎日記】</li> <li>・ 12月10日、天守閣修繕落成広告 松江城天守閣修繕竣工ニ付来ル十六日午前十時同所ニ於テ落成式ヲ挙行ス 【明治27年12月10日付山】</li> <li>・ 12月10日、戦利品縦覽広告 今回征清戦利品拝借許可ヲ得タルニ付来ル十七日ヨリ一週間松江城天守閣ニ於テ縦覽ニ供ス 【明治27年12月10日付山】</li> <li>・ 12月11日、天守閣修繕落成広告 松江城天守閣修繕竣工ニ付来ル十六日午前十時同所ニ於テ落成式ヲ挙行ス 【明治27年12月11日付山】</li> <li>・ 12月11日、戦利品縦覽広告 今回征清戦利品拝借許可ヲ得タルニ付来ル十七日ヨリ一週間松江城天守閣ニ於テ縦覽ニ供ス 【明治27年12月11日付山】</li> <li>・ 12月12日、天守閣修繕落成広告 松江城天守閣修繕竣工ニ付来ル十六日午前十時同所ニ於テ落成式ヲ挙行ス 【明治27年12月12日付山】</li> <li>・ 12月12日、戦利品縦覽広告 （要約）今回征清戦利品拝借許可ヲ得タルニ付来ル十七日ヨリ一週間松江城天守閣ニ於テ縦覽ニ供ス 【12月12日付山】</li> <li>・ 12月14日、天守閣修繕落成式と戦利品（要約）来十七日より廿三日迄一週間松江城天守閣に陳列する戦利品について本日到着の場合明十五日天守閣に陳列し翌日天守閣落成式ヲ挙くる筈 【12月14日付山】</li> <li>・ 12月16日、松江天守閣修繕竣工式ヲ行フ。予も壱円拾銭ヲ工費中ニ寄付ス。征清戦利品數十種借用城内ニ陳列、一週間衆人ノ縦覽ヲ許ス 【西田千太郎日記】</li> <li>・ 12月16日、天守閣修繕竣工式 （要約）天守閣広間において開催。天守閣天狗の間に日清戦争の絵画、第三層に戦利品の展示会を1週間開催 工事の概況などを伝える 【12月17日付山】</li> <li>・ 明治廿七年中重要記事（二）一身、親戚、朋友及我地方ニ閑スル著大事件、十二月 松江天主閣修繕工事竣り、征清軍ノ戦利品陳列縦覽 【西田千太郎日記】</li> </ul>
1895（明治28）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月1日、本県事項 （要約）明治27年の年表、本県事項、27年3月9日に城山で大婚記念式典が行われたこと。8月15日、城山記念碑前に戦勝祝宴會を開く。12月16日、天守閣修繕竣工式、征清戦利品を拝借して1週間縦覽する 【1月4日付山】</li> <li>・ 1月8日、市会議員の新年宴会 （要約）當市長以下、30余名、臨水亭において、昨日（8日）午後4時半より今度辞任する高城権八氏の慰労宴會を兼ねる 【1月9日付山】</li> <li>・ 2月6日、前田正名氏歓迎の準備 （要約）前田正名氏来県につき、岡崎運兵衛等が歓迎の発起人となる。演説会場は天神 栄徳座、懇親会場は城山の予定 【2月6日付山】→3月に内国勧業博覽会の展示品整理事務繁忙ニ付き来県を取りやめ 【3月10日付山】</li> <li>・ 2月7日、威海衛ノ陥落ニツキ未ダ詳報ヲ得ザレドモ公報ノ達シタルヲ以テ之ヲ祝センガ為メ、本日中学ノ授業ヲ休ミ、城山ニ上リテ一齊射撃ヲ行ヒ、大元帥陛下ノ萬歳三唱シ、ソレヨリ市内ヲ進行ス。○予、感冒ノ虞アリシヲ以テ城山ヨリ辞シテ帰リシガ、【西田千太郎日記】</li> <li>・ 2月8日、當市に於ける威海衛占領の祝宴會 （要約）来11日の紀元節を併し、午前十時より城山で祝宴會を開催。広島大本營へ祝電を贈り、大軽気球を挙げ、擊劍なども行う 【2月8日付山】</li> <li>・ 2月8日、師範・中学両校生徒の祝意 （要約）威海衛占領に祝意を示すため、昨日第一尋常中学校生徒が城山において一齊射撃を行い白鶴天満宮に参拝した 【2月8日付山】</li> <li>・ 2月8日、（要約）〔廣告〕威海衛占領ノ公報達セルニ付來ル十一ノ佳辰ヲシ城山ニ於テ祝捷会ヲ開カントス賛成ノ諸君ハ市役所内福岡世徳迄申込アリタシ。会費・期日・記念撮影・擊劍・発起人名簿など【明治28年2月8日付山】</li> </ul>

- ・2月9日、（要約）【広告】威海衛占領ノ公報達セルニ付来ル十一日ノ佳辰ヲトシ城山ニ於テ祝捷会ヲ開カントス賛成ノ諸君ハ市役所内福岡世徳迄申込アリタシ。会費・期日・記念撮影・擊劍・発起人名簿など【明治28年2月9日付山】
- ・2月11日、午前九時中学ニ祝賀式ヲ行ヒ、予ハ特別ニ目出度紀元節ヲ祝スルノ演舌ヲナシ、終リテ城山ニ一斉射撃ヲナシ、帝国萬歳ヲ唱フ。城山ニハ官民共同ノ祝捷会ヲ開キ（六錢）、参会者千四五百名ニ及ビ種々ノ余興等アリ。市中ノ賑ハ予想セル程ニ盛ナラズ【西田千太郎日記】
- ・2月11日、（要約）●威海衛陥落祝捷會（昨日）。城山公園において、当日の状況を説明する記事。来会者1200名以上貳なること【明治28年2月12日付山】
- ・2月11日、（要約）●師範学校及び小学校の拝賀式。尋常師範学校生徒は、午前九時講堂で拝賀式を行った後、城山ニ松亭前で一斉発火する（礼砲カ）【明治28年2月12日付山】
- ・2月11日、（要約）●中学生との拝賀式と機動演習 昨日、床机山へ機動演習し、帰校後講堂で拝賀式を行う。その後城山ニ松亭前で一斉発火し、帰校する【明治28年2月12日付山】
- ・4月14日、（要約）●双壽の松に銘酒を供ふ。一昨日（14日）、松江市役所に伯州日野郡の紳士（住所氏名あり）が訪れ、松江城山に登山し、記念碑の側の明治天皇聖婚25周年の双松を見るのを見たので、聖壽の万歳と勝軍を祝し、銘酒を供えたいとの要望を市役所の宿直に申しで、受諾を受けたという【明治28年4月16日付山】
- ・4月18日、日清和睦ヲ祝センガ為メ中学ノ授業ヲ休ミ、午後城山ニ発火演習ヲ試ム、観者群集【西田千太郎日記】
- ・4月30日（要約）【広告】往年の松江祭挙行に対する義損金の内若干の剩余生じたるは當時広告の如し、然るに該金は松江城天守閣修繕の挙に対し挙て寄贈することに協議したり（中略）福岡世徳・松本勸次郎・原源藏・清原宗太郎【明治28年4月30日付山】
- ・5月3日、（要約）●祝和会の動向（投書）。俱に太平を樂しまん。（其五）【明治28年5月3日付山】
- ・5月3日、（要約）●祝和会の動向（投書）。大運動会。（学校生徒が城山公園において）（其九）【明治28年5月3日付山】
- ・5月31日、（要約）●当市の凱旋大祝会。余記の如く一昨夜（29日）松江銀行内事務所にて準備委員会を開催。6月8日 城山を会場を伝える【明治28年5月31日付山】
- ・6月6日、（要約）●分捕品の縦覧。当市白潟区内出身の兵士にして征清軍に従ひ是迄陸海二戦に於て分捕りたる戦利品を各自実家へ送付（中略）曾て天守閣に於て縦覧せしめたるものよりは珍奇なるもの多し【明治28年6月6日付山】
- ・6月6日、（要約）広告 凱旋大祝捷会 8日9日10日の3日間、松江城山を会場に開催【明治28年6月6日付山】
- ・6月7日、（要約）【広告】凱旋大祝会豫興日時左ノ如シ。軽気球、八日午後城山ニ於テ。擊劍、同上。（中略）六月七日凱旋大祝会事務所【明治28年6月7日付山】
- ・6月8日、本日ヨリ三日間松江市凱旋大祝賀会挙行、中学校モ賛同シ予等モ発起人中ニ加ハル。（中略）予ハ唯中学校庭上ノ儀式ニ臨ミタルノミニテ城山ノ式場ニハ至ラズ。市中各町種々ノ催アリ【西田千太郎日記】
- ・6月8日、●軍人優待、白潟本町一同より当市帰郷の軍人並に同家族へ本日城山に於て菓子折一個つつを贈呈する手筈【明治28年6月8日付山】
- ・6月8日、（要約）●凱旋祝会各町の趣向。○縁取町、幼少年に揃えの洋服を着せ、飾りを付け、湖上に大砲を放ち、大砲を城山会場まで行進する。○和多見町、藝娼妓一同、城山まで練り歩く【明治28年6月8日付山】
- ・6月9日、（要約）●当市凱旋大祝会、○城山の式場 三千八百余名（会の様子も記す）【明治28年6月9日付山】
- ・6月18日、（要約）●囚徒看守を斬らんとす。一昨日（18日）午後の事、旧三の丸烟にて【明治28年6月20日付山】
- ・7月25日、（要約）●バルトン氏。一昨日来松。昨日、城山を始め市内の実地検査に着手せるか【明治28年7月25日付山】
- ・8月6日、（要約）●松江市の水道。バルトン氏の調査、洞光寺山若くは其附近の高山或は二の丸迄鉄管を通し適当の所に濾過池と清水池を作り【明治28年8月6日付山】
- ・10月20日、（要約）●神仏両式に定まる。来る11月9日城山記念碑前に於て挙行する筈の征清死亡者の招魂祭は神仏両式を以て定まる【明治28年10月20日付山】
- ・10月31日、台灣ノ平定ヲ祝センガ為メ、中学生午後一時ヨリ城山ニ一斉射撃ヲナス【西田千太郎日記】
- ・10月31日、（要約）●台湾鎮定の祝意 昨日（31日）に第一尋常中学校生徒は教員に引率され、城山において台湾鎮定を祝し発火演習を行う【明治28年11月1日付山】
- ・11月3日、九時天長節ノ拝賀式ヲアリ、生徒城山ニ一斉射撃ヲ行ヒシガ予ハ喘息ノ為メ辞シテ帰リ休養【西田千太郎日記】
- ・11月13日、本日ハ一市三郡征清役戦病死者ノ招魂祭、明日ハ同軍人慰勞会ヲ城山ニ催ス。予モ壹円ノ寄附ヲ賦課セラル。午前ノ神祭式ニ列席シ、午後一時過帰宅セシガ惡寒アリ【西田千太郎日記】
- ・11月13日、●一市三郡戦病没者招魂祭、昨日（13日）、城山に於いて（会の様子）【明治28年11月14日付山】
- ・12月16日、廿七八八年役戦死者、昨日ヲ以テ靖國神社ニ合祀セラレ本日ヨリ三日間招魂大祭アルヲ以テ、本日午後、中学生城山ニ一斉発火以テ遙祭ス【西田千太郎日記】